

デジタルCS チューナー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

PlusMedia
STATION



S200 MD / D-VHS

DST-MS9

主な特長

本機は、スカイパーフェクTV!のデジタルCS放送を受信できるデジタルCSチューナーです。

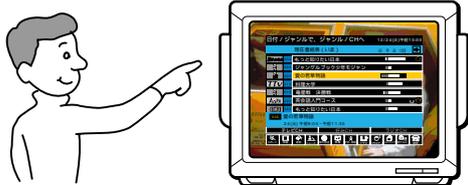
また、本機後面のi.LINK端子に、i.LINK対応のMDデッキをつないで、本機で操作することができます。

ご注意

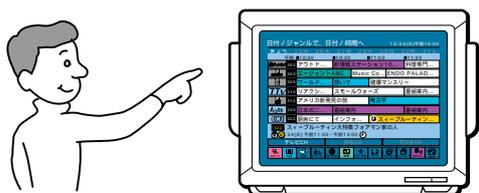
本機のi.LINK端子に、デジタルビデオデッキ、デジタルビデオカメラ、パソコンをつないで操作することはできません。

スカイパーフェクTV!のデジタルCS放送を見る

EPG(現在番組表)で簡単に番組を選べる(9ページ)



EPG(週間番組表)で約1週間先までの放送予定を見られる(11ページ)



- 番組の視聴予約をする(26ページ)
- 番組の録画予約をする(28ページ)

インタラクティブ放送を楽しむ

本機は、スカイパーフェクTV!のインタラクティブ放送の仕様に対応しています。音楽配信サービス(ミュージックダウンロード)などを楽しむことができます。(19ページ)

ユーザー登録のお願い

同梱のユーザー登録カード、またはインターネットのホームページでユーザー登録できます。アップグレードのお知らせなどをお送りしますので、必ず登録していただけるようお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.sony.co.jp/digitalcs/>

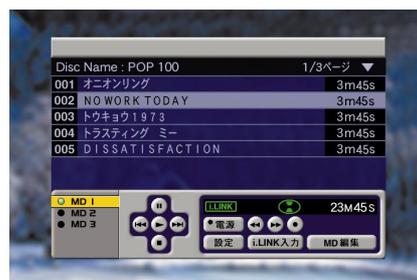
i.LINKとは?

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。i.LINKについて詳しくは、35ページをご覧ください。

i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴは商標です。

別売りのi.LINK対応機器を本機で操作する

MDデッキを操作できる(38ページ)



取扱説明書中の画面イラストについて画面のイラストなどに使われている放送局名や番組名は説明用のもので、実在しません。

目次

基本画面説明

EPG(番組表)の画面説明	4
<small>アイリンク</small> i.LINKの画面説明	6

番組を選ぶ

番組を見る	7
EPG(現在番組表)から選ぶ	9
EPG(週間番組表)から選ぶ	11
好みのチャンネルから選ぶ(好み一覧)	15
番組説明を見る	17
インタラクティブ放送を楽しむ	19
デジタルラジオ放送を聞く	21
ペイ・パー・ビュー、ペイ・パー・シリーズを見る	22
番組紹介(プロモーション)を見る	25

番組を予約する

本機でできる番組の予約について	26
見たい番組を予約する(視聴予約)	26
AVマウスを使って録画予約する	28
i.LINK対応機器に予約する	32
ビデオデッキの予約機能を使って録画予約する ..	33
予約を確認する・取り消す	34

i.LINK対応機器を操作する

i.LINK(アイリンク)について	35
本機でできるi.LINKの操作について	36
MDデッキを操作する	38
MDを編集する	39
i.LINKの設定を変える	41

その他の操作や設定

EZ(イージー)パネルで操作する	43
視聴者参加の投票や申し込みをする (センターアクセス)	44
放送局からのお知らせを見る(ボード・メール) ..	45
ダウンロードを行う	47

設置と準備

設置と準備の流れ	48
手順1: リモコンを準備する	48
手順2: アンテナとテレビにつなぐ	49
手順3: 電話回線につなぐ	50
手順4: 電源コードをつなぐ	51
手順5: ビデオデッキをつなぐ	52
手順6: MDデッキをつなぐ	53
手順7: i.LINK対応機器をつなぐ	54
手順8: ICカードを入れる	55
手順9: 受信設定・アンテナ設定をする	56
手順10: 画面の種類(4:3またはワイド)を 合わせる	58
手順11: 電話回線を設定する	59
手順12: 視聴年齢制限を設定する	60
番組タイトルを英語にする	61
本機のリモコンでテレビを操作する	62
お買い上げ時の設定に戻す	63
メニューで設定を変える	64

その他

故障かな?と思ったら	65
メッセージ一覧	67
保証書とアフターサービス	68
主な仕様	69
各部のなまえ	70
メニュー画面一覧	75
索引	裏表紙

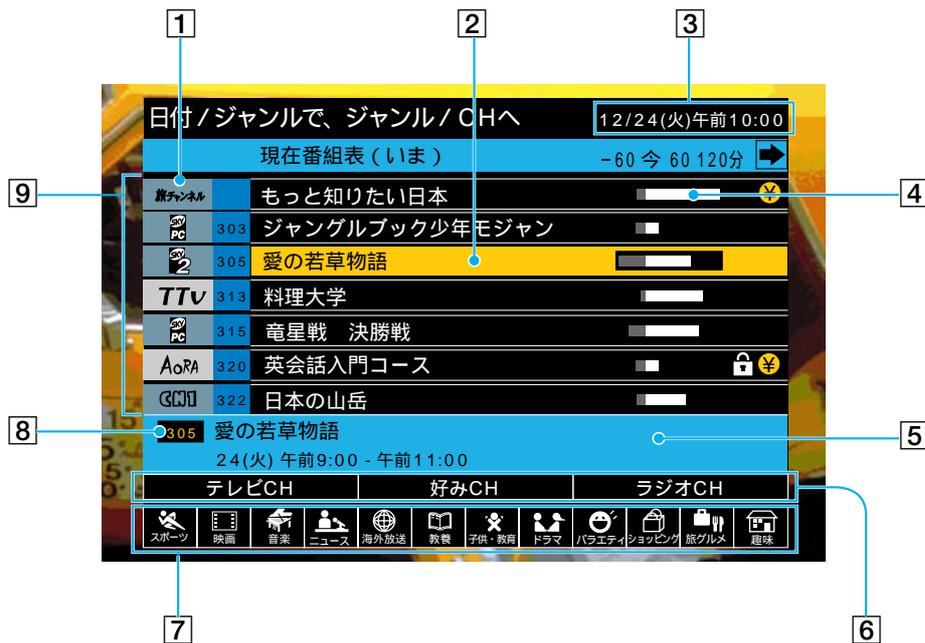
EPG(番組表)の 画面説明

～デジタルCS放送を楽しむ～

本機では、スカイパーフェクTV!のデジタルCS放送を
ご覧になることができます。
選局や録画に便利な、EPG(番組表)の画面について
説明します。

EPG(現在番組表)(9ページ)

現在放送中の番組とその次の番組が表示されます。



- 1** チャンネルロゴ
表示の明るさによって、以下のように区別されます。
明るい表示：契約済みのチャンネル/無料チャンネル
暗い表示：未契約のチャンネル/ペイ・パー・ビュー
(PPV)チャンネル/サウンドナビなど一部のサービス
- 2** カーソル
黄色で表示されている部分がカーソルです。リモコン
のジョイスティックの \uparrow / \downarrow / \leftarrow / \rightarrow で移動します。
- 3** 現在の日時
- 4** 放送時間
「今」(現在の時間)を軸にして、番組の放送時間の経
過状況を示します。
- 5** 番組情報欄
カーソルで選んでいる番組の情報を表示します。
- 6** チャンネル選択欄
EPGに表示するチャンネルの種類(テレビCH、好み
CH、ラジオCH)を選択します。(10ページ)
- 7** ジャンル欄
20種類のジャンルの中から、お好きな12種類を設
定して表示します。(「EPG(番組表)に表示するジャンル
を設定する」15ページ)
設定した12種類の中からジャンルを1つ選ぶと、明
り表示に変わり、選んだジャンルの番組のみが番組タ
イトル欄に表示されます。(「番組のジャンルを選ぶ」
10ページ)
- 8** チャンネル番号を入力すると
現在番組表を表示しているときに、チャンネルを数字
ボタンで入力すると、入力したチャンネルを中心に番
組表を表示します。
- 9** 番組タイトル欄
それぞれの番組のチャンネルロゴ、チャンネル番号、
タイトルを表示します。

EPG (週間番組表)(11ページ)

1週間先までの番組が表示されます。



1 日付欄

日付を表示します。選んだ日付の放送予定番組が、番組タイトル欄に表示されます。

リモコンの日付/ジャンルボタンを押して、日付欄に矢印ポインターを表示し、ジョイスティックの←/⇒で日付を選びます。(12ページ)

2 カーソル

3 現在の日時

4 時刻欄

リモコンの日付/ジャンルボタンとジョイスティックの⇩で時刻欄を選び、←/⇒で時刻欄をスクロールします。

5 番組タイトル欄

6 番組情報欄

7 チャンネル選択欄

EPGに表示するチャンネルの種類(テレビCH、好みCH、ラジオCH)を選択します。

8 ジャンル欄

20種類のジャンルの中から、お好きな12種類を設定して表示します。(「EPG(番組表)に表示するジャンルを設定する」14ページ)

ジャンル欄を色分けすると、番組タイトル欄もジャンルに応じて色分けされます。同じ色をいくつかのジャンルにつけることもできます。

(「ジャンルを色分けするには」13ページ)

9 チャンネル番号を入力すると

週間番組表を表示しているときに、チャンネル数字ボタンで入力すると、入力したチャンネルを中心に番組表を表示します。

10 チャンネルロゴ

ジョイスティックの使いかた



カーソルを移動するには



決定するには



アイリンク i.LINKの画面説明

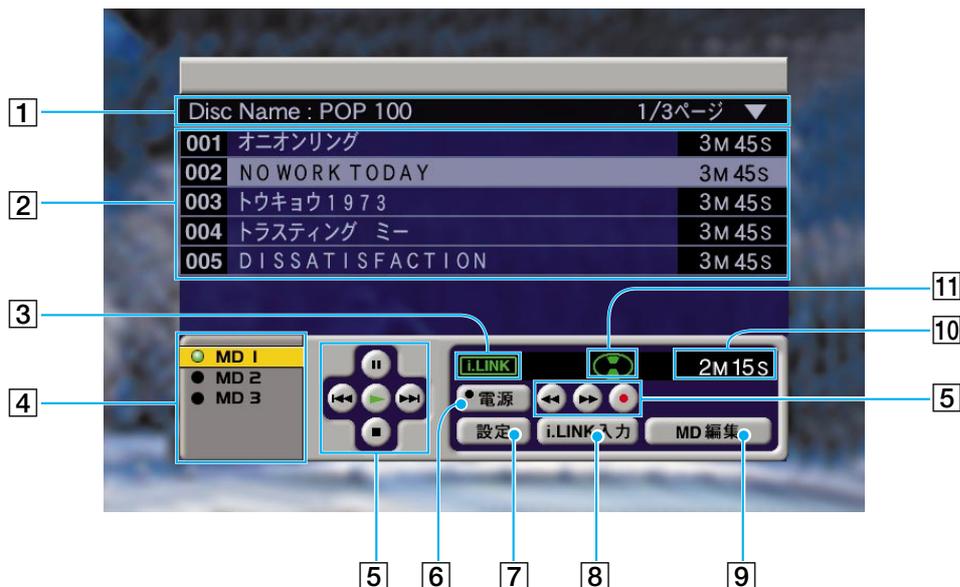
~ i.LINK対応機器を操作する ~

本機に別売りのi.LINK対応機器 (MDデッキ) を接続すると、テレビ画面上のコントロールパネルで操作できます。

i.LINKについて詳しくは、35ページをご覧ください。

MDコントロールパネル(38ページ)

i.LINK対応MDデッキを操作できます。



- 1** ディスクタイトル表示
ディスクのタイトルを表示します。
- 2** TOC情報表示
曲順、タイトル、演奏時間を表示します。
- 3** i.LINK表示
i.LINK入力ボタン(**8**)を押すと点灯します。
i.LINK対応MDデッキにデジタル音声を記録するときは、点灯していることを確認してください。
- 4** 接続機器表示部
i.LINKケーブルでつながれている機器(最大5台)が表示されています。
操作したい機器をLINC*すると、LINCした機器のランプがコントロールパネル上で点灯します。
- 5** ファンクションボタン
再生、停止などの操作ボタンです。
ボタンの点灯によって、動作の状態も表します。
- 6** 電源ボタン
i.LINK対応MDデッキの電源を入/切します。
リンク ロジカル インターフェース コネクション
* LINC (Logical Interface Connection) について詳しくは、36ページをご覧ください。
- 7** 設定ボタン
「機器設定」の画面が表示されます。
6台以上のi.LINK対応機器をつないでいるとき、i.LINKコントロールパネルでLINCできる5台の機器を変更できます。(41ページ)
- 8** i.LINK入力ボタン
i.LINK対応MDデッキの入力をi.LINK入力に切り換えます。i.LINKでデジタル音声を記録するときは、必ず押してください。
- 9** MD編集ボタン
「MD編集」の画面が表示されます。(39ページ)
- 10** 演奏時間表示
曲の再生時間・録音時間、MDの全記録時間などを表示します。
- 11** ディスク表示
i.LINK対応MDデッキにディスクが入っているとき点灯します。
(再生中：緑色回転、再生一時停止中：緑色点滅、記録中：赤色回転、記録一時停止中：オレンジ色点滅、早送り・早戻し中：白色回転、停止中：白色)

ちょっと一言

サウンドナビ(21ページ)の受信中に情報があると、画面の一番上のバーに、放送中の曲のタイトルや経過時間が表示されます。

番組を見る

本機では、スカイパーフェクTV! が提供するデジタルCS放送の2つのサービス(スカイサービス・パーフェクTV! サービス)を見られます。

操作に入る前に「設置と準備の流れ」(48ページ)の手順に従って設置と準備を済ませておいてください。次に、テレビの電源を入れ、本機をつないだ入りに切り換えてください。(本機のリモコンでテレビを操作できます。詳しくは62ページをご覧ください。)

サービス名の表記について

スカイサービスとパーフェクTV! サービスの番組は、それぞれ異なる2つの通信衛星から送られています。本機の表示窓では、以下のように表記しています。

- ・スカイサービス...「衛星B」
- ・パーフェクTV! サービス...「衛星A」

衛星を切り換える

スカイサービスとパーフェクTV! サービスを、リモコンのボタンを押すだけで簡単に切り換えることができます。



衛星切換ボタンを押す。

押すたびに、スカイサービス(衛星B)とパーフェクTV! サービス(衛星A)が切り換わります。



ちょっと一言

本体の衛星切換ボタンでも衛星B(スカイサービス)と衛星A(パーフェクTV! サービス)を切り換えられます。

チャンネルを選ぶ

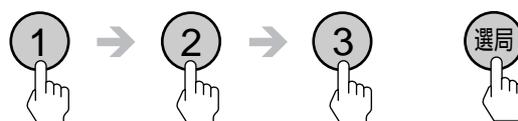
チャンネルは、リモコンの数字ボタンで直接入力するか、チャンネル+/-ボタンで選びます。



数字ボタンで選ぶ

番組ガイド冊子などを見ていて、見たい番組のチャンネル数字(例:123チャンネル)がわかっているときなどに便利です。

チャンネル番号に合わせて数字ボタンを押して、選局ボタンを押す。
例)123チャンネルを選ぶ場合
選んだ番組が表示されます。



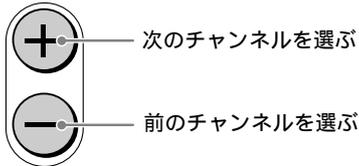
番組を見る(つづき)

チャンネル+ / - ボタンで選ぶ

見たい番組が映るまで、チャンネル数字を順番に繰り上げたり、繰り下げたりします。

チャンネル+ / - ボタンを押す。

チャンネル



ペイ・パー・ビュー(PPV)などの有料番組を見るときは

番組を購入します。「ペイ・パー・ビュー(PPV)を見る」(22ページ)をご覧ください。

視聴年齢制限のある番組を見るときは

設定した暗証番号を入力すると見られます。暗証番号を設定していない場合は、暗証番号と視聴年齢制限を設定してください。詳しくは、「視聴年齢制限を設定する」(60ページ)をご覧ください。

番組の説明を見るときは

番組説明ボタンを押します。出演者やあらすじなどの情報を見られます。「番組説明を見る」(17ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

チャンネル+ / - ボタンで好みのチャンネルだけを選局するように設定できます(チャンネルスキップ)。詳しくは、「好みのチャンネルを設定する」(15ページ)および「チャンネル+ / - ボタンで好みのチャンネルのみ選べるようにする(チャンネルスキップ)」(17ページ)をご覧ください。

ご注意

以下のメッセージが表示されたときは番組を見ることができません。

- この番組はご契約いただくと視聴できます
番組に関する詳細はスカイパーフェクTV!カスタマーセンターにお問い合わせください
→ 契約していない番組の場合。
- ICカードを入れてください
→ ICカードを入れ忘れている。

その他の操作



音声を切り換えるには

二重音声ボタンを押します。

押すたびに「主 副 主/副 主・・・」と切り換わります。二重音声放送がないときは切り換わりません。

第二音声など複数の音声がある放送では、番組説明画面で音声を切り換えられます。詳しくは、「信号を切り換える」(18ページ)をご覧ください。

画面表示を出すには

画面表示ボタンを押します。

押すたびに「チャンネル表示」「番組タイトル/チャンネル表示」「表示なし」「チャンネル表示」・・・と切り換わります。

番組によっては、画面表示が出ない場合があります。

静止画面にするには

スチルボタンを押します。

静止画面になります。申し込みの宛先や、お料理番組のレシピのメモをとったりするのに便利です。

もう一度押すと元に戻ります。

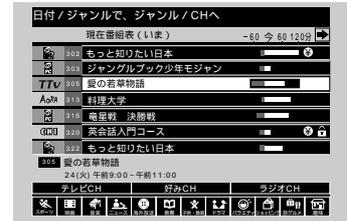
マルチ画面など、静止画面にできない場合があります。

EPG (現在番組表) から選ぶ

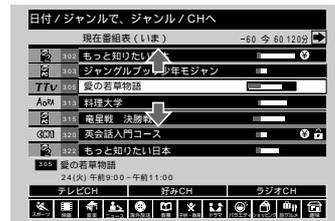
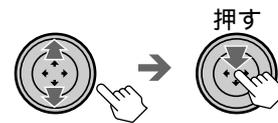
現在番組表には、現在放送中の番組とその次の番組が表示されます。見たい番組を簡単に探せます。また、番組のジャンルを選び、選んだジャンルの番組だけを表示することもできます。



- 1 現在番組ボタンを押す。
「現在番組表(いま)」が表示されます。
「データ取り込み中」と表示された場合は少しお待ちください。



- 2 ジョイスティックの↑/↓で番組を選び、決定する。
選んだ番組を見られます。

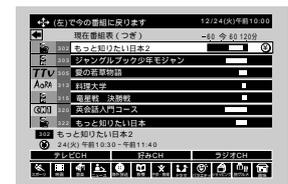


次に始まる番組の一覧を見るには

上の手順2で、ジョイスティックの⇒を押す。
「現在番組表(つぎ)」が表示されます。

現在番組表(いま)

現在番組表(つぎ)



「現在番組表(つぎ)」で番組を選ぶと

番組説明の画面に切り換わります。(17ページ)

「現在番組表(いま)」に戻すには

ジョイスティックの⇐を押します。

元のテレビ画面に戻すには

現在番組ボタンを押します。

EPG (現在番組表) から選ぶ (つづき)

番組のジャンルを選ぶ

番組のジャンルを選ぶと、そのジャンルだけの番組表に切り換わります。現在番組表では、ジャンルは1つしか選べません。

ジャンルの設定のしかたについては、「EPG (番組表) に表示するジャンルを設定する」(14ページ) をご覧ください。



- 1 現在番組表が表示されているときに、日付 / ジャンルボタンを押す。
「テレビCH」(または「好みCH」, 「ラジオCH」) 欄に矢印ポインターが表示されます。

日付/ジャンル



- 2 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で「テレビCH」, 「好みCH」, 「ラジオCH」のいずれかを選び、決定する。

項目	内容
テレビCH	すべてのテレビチャンネル
好みCH	好みのチャンネル設定で選んだチャンネルのみ (15ページ)
ラジオCH	すべてのラジオチャンネル (ジャンルは選べません。)

- 3 ジョイスティックの \downarrow を押す。
ジャンル欄に矢印ポインターが表示されます。

- 4 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow でジャンルを選び、決定する。

選んだジャンルの番組が番組タイトル欄に表示されます。

- 5 日付 / ジャンルボタンを押す。
番組タイトル欄にカーソルが戻り、番組を選ぶようになります。
「現在番組表(いま)」または「現在番組表(つぎ)」のどちらかで選んだジャンルは、片方がそのジャンルの番組でないときでもタイトルが表示されます。

ジャンルの選択を取り消すには

同じジャンルをもう1度選んで、決定します。
暗い表示に変わり、選択が取り消されます。

ちょっと一言

すでに選ばれているジャンルがあるとき、他のジャンルを選んでジョイスティックで決定すると、前に選ばれていたジャンルは取り消されて暗い表示に変わります。

EPG (週間番組表) から選ぶ

週間番組表では、約1週間先までの番組表を見ることが出来ます。

放送日時やジャンルを指定して見たい番組を探せますので、番組を予約するときにも便利です。



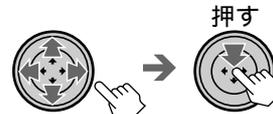
1

週間番組ボタンを押す。
週間番組表が表示されます。



2

ジョイスティックの↑/↓/←/→で番組を選び、決定する。
放送が始まっている番組を選んだときは、その番組の画面になります。
放送が始まっていない番組を選んだときは、番組説明の画面になります。



ちょっと一言

上の手順2で番組を選ぶときに、ジョイスティックの←または⇒を押し続けると時刻欄がスクロールし、番組タイトルも変わります。

ご注意

- EPGでは、通常の番組を予約できます。インタラクティブ放送(19ページ)の中での予約は、番組の画面上で行ってください。
- インタラクティブ放送の予約や予約の取り消しは、週間番組表では行えません。

EPG (週間番組表) から選ぶ (つづき)

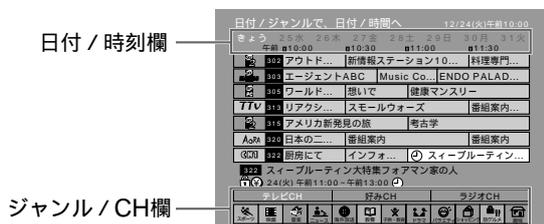
日付と時刻を選ぶ



日付 / ジャンルボタンの使いかた

週間番組表では、日付 / ジャンルボタンを押すたびに、矢印ポインターが次のように移動します。

番組タイトル欄 日付 / 時刻欄 ジャンル / CH欄

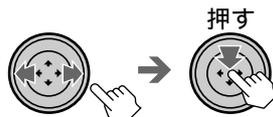


- 1 週間番組表の画面で、日付 / ジャンルボタンを押す。
日付欄に矢印ポインターが表示されます。

日付 / ジャンル



- 2 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で日付を選び、決定する。
選んだ日付の番組が番組タイトル欄に表示されます。



- 3 ジョイスティックの \downarrow を押す。
時刻欄が選ばれます。



- 4 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で時刻欄をスクロールして、決定する。
ご希望の時刻が表示されるまで、スクロールしてください。



- 5 日付 / ジャンルボタンを2回押す。
番組タイトル欄にカーソルが戻り、番組が選べるようになります。

チャンネルの種類を選ぶ

週間番組表に表示するチャンネルを、「テレビCH」、「好みCH」、「ラジオCH」から選ぶことができます。



- 1 週間番組表の画面で、日付/ジャンルボタンを2回押す。
「テレビCH」(または「好みCH」、「ラジオCH」)欄に矢印ポインターが表示されます。



- 2 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で「テレビCH」、「好みCH」、「ラジオCH」のいずれかを選び、決定する。

項目	内容
テレビCH	すべてのテレビチャンネル
好みCH	好みのチャンネル設定で選んだチャンネルのみ(15ページ)
ラジオCH	すべてのラジオチャンネル (ジャンルは選べません。)

- 3 日付/ジャンルボタンを押す。
番組タイトル欄にカーソルが戻り、番組が選べるようになります。

ジャンルを色分けするには

ジャンル欄にピンク、青、緑、紫の色をつけると、番組タイトル欄もジャンルごとに色分けされます。同じ色を複数のジャンルに付けることもできます。ジャンルの設定のしかたについては、「EPG(番組表)に表示するジャンルを設定する」(14ページ)をご覧ください。

- 1 週間番組ボタンを押す。
- 2 日付/ジャンルボタンを2回押す。
「テレビCH」(または「好みCH」、「ラジオCH」)欄に矢印ポインターが表示されます。
- 3 ジョイスティックの \downarrow で矢印ポインターをジャンル欄に移動する。
- 4 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で色を付けたいジャンルを選び、決定する。
選んだジャンルの色が番組タイトル欄に表示されます。
お好きな色が表示されるまで、くり返しジョイスティックで決定します。
決定するたびに、以下のように色が変わります。

ピンク 青 緑 紫 無色



ちょっと一言

他のジャンルにも色をつけるときは、手順4をくり返してください。

色分けの例

緑：お父さん	紫：お母さん	青：子供	ピンク：全員
ゴルフ 海外	ショッピング ドラマ	アニメ	スポーツ 映画

EPG (週間番組表) から選ぶ (つづき)

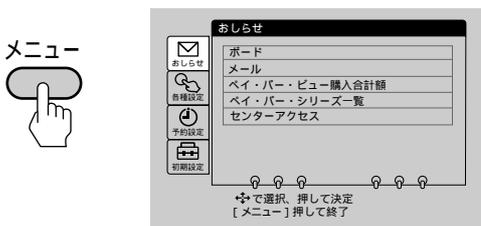
EPG (番組表) に表示するジャンルを設定する

本機は放送される番組を20種類のジャンルに分けます。番組表の「ジャンル欄」には、お好きなジャンルを12種類設定できます。

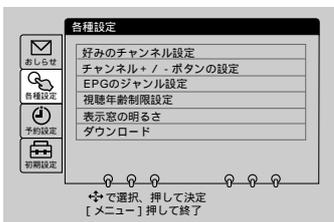
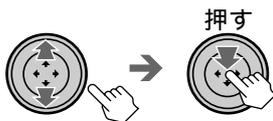
お買い上げ時の設定では「スポーツ、映画、音楽、ニュース、海外放送、教養、子供教育、ドラマ、バラエティー、ショッピング、旅・グルメ、趣味」の12種類のジャンルが表示されます。



- 1 メニューボタンを押す。
メニューが表示されます。



- 2 ジョイスティックの↑/↓で「各種設定」を選び、決定する。



- 3 ジョイスティックの↑/↓で「EPGのジャンル設定」を選び、決定する。

チェックマーク(✓)がついているのは、番組表に設定されているジャンルです。「戻る」を選ぶと元の画面に戻ります。

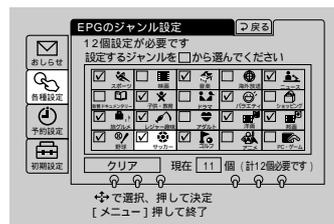


「クリア」を選ぶとお買い上げ時のジャンル設定に戻ります。

- 4 ジョイスティックの↑/↓/←/→で
はずしたいジャンルを選び、決定する。
例として、ここでは「映画」の設定をはずします。「映画」のチェックマーク(✓)が消えて、入れ換えられる状態になります。



- 5 ジョイスティックの↑/↓/←/→で
チェックマーク(✓)のないジャンルから
入れ換えたいジャンルを選び、決定する。
ここでは「サッカー」を選びます。つづけて入れ換えるときは、手順4~5を繰り返します。



- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

すべてのジャンルを設定しなおすには

1 手順4でチェックマークのついているジャンルをすべて選び、決定する。

チェックマークをすべて消した状態にします。

2 ジャンルを選び、決定する。

チェックマークが付きます。

マークをつけた順番で番組表に表示されます。

ジャンルは、必ず12種類設定してください。

好みのチャンネルから選ぶ(好み一覧)

契約しているチャンネルやよく見るチャンネルを、「好みのチャンネル」として設定できます。

好みのチャンネルを設定すると、番組表で「好みCH」を選んだときに、設定したチャンネルのみが表示されます。リモコンの好み一覧ボタンを押して、設定したチャンネルロゴの一覧を表示させ、そこから見たいチャンネルを選ぶことができます。また、チャンネル+/-ボタンで好みのチャンネルのみを選局できるように設定することもできます。

好みのチャンネルを設定する

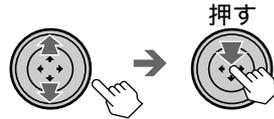
好みのチャンネルは、衛星A、衛星Bそれぞれで最大42種類まで設定できます。



- 1 メニューボタンを押す。メニューが表示されます。



- 2 ジョイスティックの↑/↓で「各種設定」を選び、決定する。

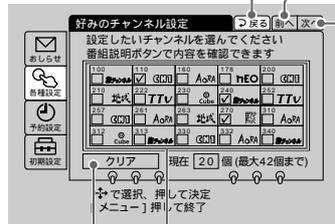


- 3 ジョイスティックの↑/↓で「好みのチャンネル設定」を選び、決定する。

「戻る」を選ぶと元の画面に戻ります。

「前へ」を選ぶと前のページを表示します。

「次へ」を選ぶと次のページを表示します。



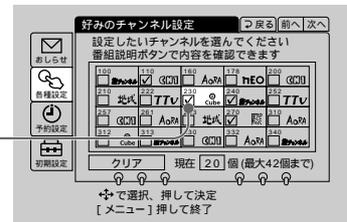
チャンネル一覧

20種類まで一覧表示します。21種類を超える場合は、次のページに表示します。

「クリア」を選ぶとすべての「✓」が消えます。

- 4 ジョイスティックの↑/↓/←/→でチャンネル一覧から好みのチャンネルを選び、決定する。

選んだチャンネルにチェックマーク(✓)が付き、番組表で「好みCH」を選ぶと、ここで選んだチャンネルが番組タイトル欄に表示されます。



チェックマーク

- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

好みのチャンネルから選ぶ (好み一覧)(つづき)

チェックマーク(✓)を外すには

手順4でチェックマーク(✓)のついているチャンネルを選び、決定します。

ちょっと一言

手順4でチャンネルを選んだあと、番組説明ボタンを押すと、そのチャンネルの説明が表示されます。好みのチャンネルを設定するときの参考にすると便利です。

チャンネルロゴ表示の明るさについて

好みのチャンネル一覧で表示されるチャンネルロゴの明るさは、以下のように区別されています。

明るい表示：

- 契約済みのチャンネル
- 無料チャンネル

暗い表示：

- 未契約のチャンネル
- PPV(ペイ・パー・ビュー)チャンネル
- サウンドナビなど一部のサービス

好みのチャンネル一覧から選ぶ

「好みのチャンネルを設定する」で選んだチャンネルの一覧から、見たい番組を選べます。

好みのチャンネル一覧は、衛星A・衛星Bそれぞれで表示されます。



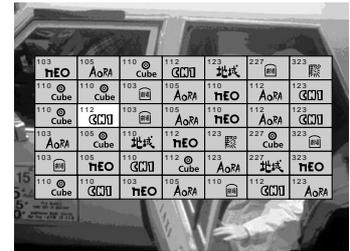
1

好み一覧ボタンを押す。

好みのチャンネル一覧が表示されます。

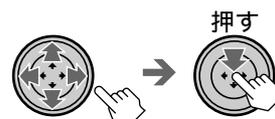
衛星Aを選んでいるときは衛星Aの好みチャンネル一覧が、衛星Bを選んでいるときは衛星Bの好みチャンネル一覧が表示されます。

好み一覧

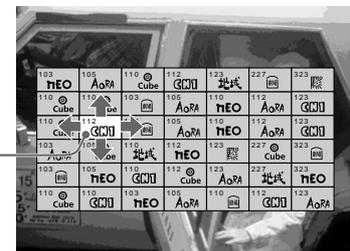


2

ジョイスティックの↑/↓/←/→で見たいチャンネルを選び、決定する。



カーソル



番組説明を見るには

ジョイスティックで番組を選び、番組説明ボタンを押します。

カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

「戻る」を選んで決定すると、好みのチャンネル一覧に戻ります。

チャンネル+ / - ボタンで好みのチャンネルのみ選べるようになる(チャンネルスキップ)

チャンネル+ / - ボタンでチャンネルを選ぶとき、「好みのチャンネル設定」で選んだチャンネルのみを選局できるようになります。



番組説明を見る

番組の出演者やあらすじなど、詳しい説明を見ることができます。



番組を選ぶ

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「各種設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「チャンネル+ / - ボタンの設定」を選び、決定する。
- 4 ジョイスティックの↑/↓で「好みのチャンネルのみ」を選び、決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

すべてのチャンネルを選ぶには

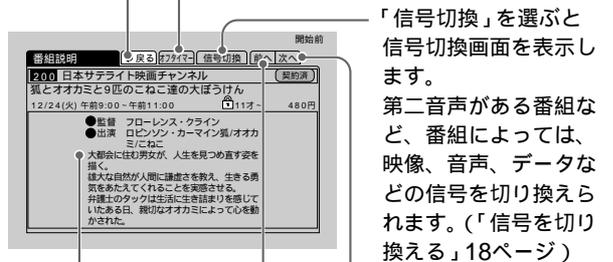
手順4で「すべてのチャンネル」を選びます。

番組を見ているときに、番組説明ボタンを押す。



「戻る」を選ぶと元の画面に戻ります。

「オフタイマー」を選ぶとオフタイマー設定画面を表示します。番組が終了すると自動的に電源が切れるように設定することができます。



「信号切替」を選ぶと信号切替画面を表示します。第二音声がある番組など、番組によっては、映像、音声、データなどの信号を切り換えられます。(「信号を切り換える」18ページ)

番組説明

「前へ」を選ぶと前のページを表示します。

「次へ」を選ぶと次のページを表示します。

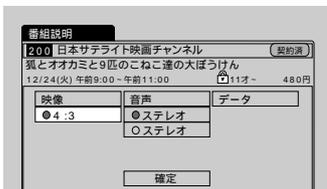
番組説明を見る(つづき)

信号を切り換える

第二音声がある番組など、番組によっては、映像・音声・データなどの信号を切り換えることができます。

1 番組を見ているときに、番組説明ボタンを押す。

2 ジョイスティックの \leftarrow/\rightarrow で「信号切換」を選び、決定する。
それぞれの項目を設定できます。



3 ジョイスティックの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ で「確定」を選び、決定する。
番組説明の画面に戻ります。

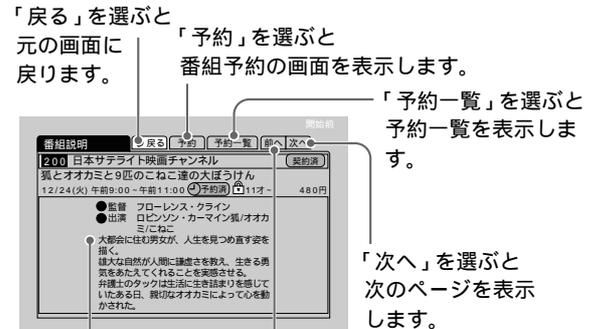
ご注意

チャンネルを切り換えると、信号切換の設定は設定前の状態に戻ります。

放送が始まっていない番組の説明を見るには

1 週間番組ボタンを押し、週間番組表を表示する。

2 ジョイスティックの \uparrow/\downarrow で番組説明を見たい番組を選び、決定する。



3 ジョイスティックの \leftarrow/\rightarrow で「戻る」を選び、決定する。
もう一度、番組説明ボタンを押しても終了します。

ちょっと一言

- マルチ画面(25ページ)で番組説明ボタンを押すと、カーソルで選んでいる番組の番組説明が表示されます。
- 番組説明が送られていない番組もあります。

インタラクティブ 放送を楽しむ

インタラクティブ放送は、通常の放送に各種の情報を付加した放送です。

インタラクティブ放送の受信中には、本機の表示窓の「インタラクティブ」が点灯します。



インタラクティブ放送中に、画面の指示に従って操作する。

ジョイスティックと数字ボタンで操作します。放送にヘルプ機能があるときは、リモコンの「ヘルプ」ボタンを押してください。

前の画面に戻るときは、リモコンの「もとへ」ボタンを押してください。

ただし、操作方法および動作は放送によって異なります。ヘルプ機能が画面に表示されていないときは、ボタンを押しても動作しません。

ちょっと一言

インタラクティブ放送仕様は今後拡張する可能性があります。本機では、拡張仕様に対応する場合にダウンロードなどによるアップグレードをする必要があります。

音楽配信サービス(ミュージックダウンロード)を受信する

i.LINK対応MDデッキをお持ちの場合は、i.LINKを使って楽曲をMDに記録できます。

また、i.LINKに対応していないソニーのMDデッキで、AVマウスに対応している場合は、付属のAVマウスを使って楽曲をMDに記録できます。

AVマウス対応MDデッキについては、DNC(デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター)にお問い合わせください。(裏表紙をご覧ください。)

ご注意

楽曲の記録中には、本体またはリモコンの電源ボタンを押さないでください。正しく記録できないことがあります。

i.LINK対応MDデッキで音楽配信サービスを受信する

i.LINK対応MDデッキを接続しておいてください。(「手順7：i.LINK対応機器をつなぐ」54ページ)

- 1 音楽配信サービスを行っている番組を選ぶ。
- 2 画面の指示に従って、i.LINK対応MDデッキに楽曲を記録する。

ご注意

- 音楽配信サービスで楽曲をMDに記録するとき、自動的にLINCが解除されることがあります。その場合、リモコンのi.LINKボタンを押してコントロールパネルを表示させると、i.LINK対応MDデッキが再びLINCされます。
- インタラクティブ放送(ミュージックダウンロードなど)の予約は、ミュージックダウンロードなどの画面に表示される予約のボタンで行ってください。

ソニーのAVマウス対応MDデッキで音楽配信サービスを受信する

(i.LINK対応MDデッキで楽曲を記録する場合は、以下の操作は不要です。)

MDデッキとAVマウスを接続しておいてください。(「手順6：MDデッキをつなぐ」53ページ)

AVマウス対応MDデッキを操作するために、AVマウスから発信される信号を、お手持ちのMDデッキのリモコンモードに合わせて設定します。

設定を始める前に、MDデッキの電源は切っておいてください。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「予約設定」を選び、決定する。

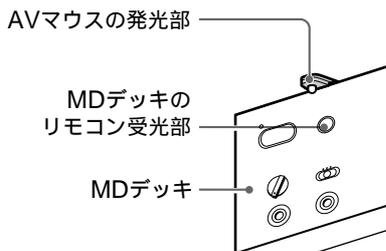
インタラクティブ放送を楽しむ (つづき)

3 ジョイスティックの \uparrow/\downarrow で「AVマウス(MDマウス)確認」を選び、決定する。

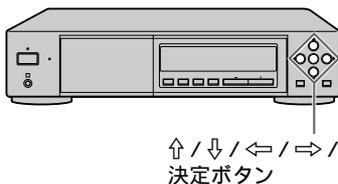


4 ジョイスティックの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ でお使いのMDデッキの種類を選び、決定する。

5 取り付け予定位置を決める。
MDデッキのリモコン受光部を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。



6 (AVマウスの動作テストをします)
チューナー本体の \uparrow/\downarrow ボタンで「電源オン/オフ」を選び、決定ボタンを押す。



必ず本体で操作してください。リモコンで操作すると誤動作することがあります。
MDデッキの電源が入ると、設定は完了です。
MDデッキの電源が入らない場合は、手順3の画面(MDマウス確認)で「ソニーMDコンボ」または「ソニーMDデッキ」を選んでテストしてください。

7 「電源オン/オフ」が選ばれていることを確認して、もう一度本体の決定ボタンを押す。
MDデッキの電源が切れます。

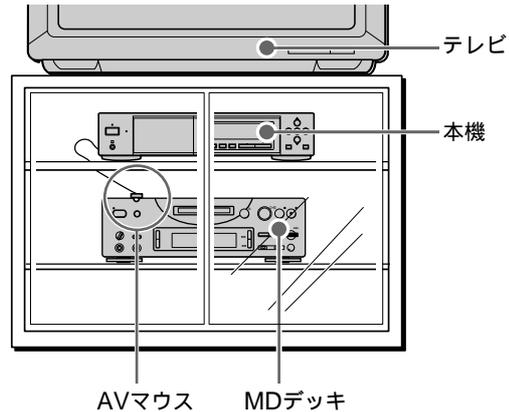
8 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。



* AVマウスのテープの代わりに、市販の両面テープもご利用いただけます。

シールをはがす

9 手順5で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。



以上でAVマウスの設定は終わりです。
音楽配信サービスを行っている番組を選び、AVマウス対応MDデッキに楽曲を記録できます。

AVマウスを使って音楽配信サービスなどを予約記録する場合は、必ずAVマウス対応MDデッキまたはMDコンボの電源を切っておいてください。予約以外では、電源を入れてお使いください。

ご注意

- AVマウスは、本機に1つ付属しています。MDデッキとビデオデッキの両方にAVマウスを使う場合は、2つのAVマウスが必要です。別売りのAVマウスVM-50をご用意ください。
- DST-700JS / 800JSに付属のビデオマウスは、本機では使用できません。
- AVマウス対応MDデッキが予約待機中のときは、MDデッキの操作をしないでください。
- AVマウス対応MDデッキでの記録中は、本機および他の機器のリモコンは操作しないでください。
- AVマウス対応MDデッキに予約したとき、アンプやMDコンボなどでMDデッキが選択されていると、予約が実行されたときにスピーカーから音が出る場合があります。あらかじめスピーカーの音量を調節しておいてください。
- i.LINK対応MDデッキを本機にi.LINKで接続して使うときは、AVマウスを同時に使用しないでください。また、AVマウス対応MDデッキをあわせて使用する場合は、i.LINK対応MDデッキをAVマウスから離してご使用ください。

ちょっと一言

- AVマウスがMDデッキに届かない場合は、別売りの接続コード RK-G131 (3m) でコードを延長してください。
- MDデッキのリモコン受光部は、MDデッキの取扱説明書で確認してください。ソニー製のMDデッキにはリモコン受光部付近に \square マークが記されています。

デジタルラジオ放送を聞く

スカパーフェクTV!では、音声のみの放送(デジタルラジオ放送)を行っています。

テレビ番組と同様に、現在番組表、週間番組表、好みチャンネル一覧から番組を選ぶこともできます。曲名やアーティストについての文字情報が同時に送られているものもあります。

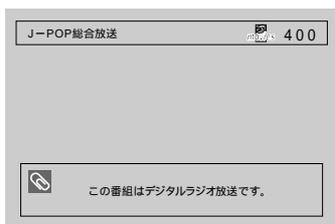
サウンドナビ：曲名、アーティスト名、演奏時間の表示サービスです。

曲名一覧：受信した曲名とアーティスト名を20曲まで一覧表に残すことができます。録音してあとでご覧になるときに便利です。お買い上げ時は「自動記録」に設定されているので、曲が終了すると自動的に一覧表に記録します。



ラジオボタンを押す。

文字情報がないラジオ番組の画面



ラジオボタンを押すたびに、テレビとラジオが切り換わります。

サウンドナビ・曲名一覧を見るには

1

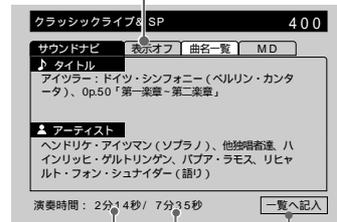
デジタルラジオ放送に切り換える。

文字の情報が付いているときは、サウンドナビの画面が表示されます。

「表示オフ」を選ぶと

サウンドナビの画面が消えます。

元の画面に戻すにはもう一度決定してください。



経過時間

演奏所要時間

「一覧へ記入」を選ぶと

放送中の曲名、アーティスト名が曲名一覧に記録されます。

「MD」を選ぶと、AVマウスを使ってMDに楽曲を記録できます。

AVマウスを使って楽曲を記録するときのご注意

- MDデッキのレベルシンクロ機能を使って曲番を付けてください。また、記録を終えるときは必ず画面上で「停止」を選んでください。
- 楽曲の記録中に、本機で録画予約などをした番組の開始時刻になった場合、予約は取り消されますのでご注意ください。
- AVマウス対応のMDデッキについては、DNC(デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター)にお問い合わせください(裏表紙)。また、AVマウスの設定のしかたについては、「ソニーのAVマウス対応MDデッキで音楽配信サービスを受信する」(19ページ)をご覧ください。

2

ジョイスティックの⇒で「曲名一覧」を選び、決定する。

「前へ」を選ぶと

前のページを表示します。

「戻る」を選ぶと

サウンドナビの画面に戻ります。

「次へ」を選ぶと

次のページを表示します。



「全曲クリア」を選ぶと

一覧表の全曲を消去します。

「記録中止」を選ぶと

記録を中止します。

「自動記録」を選ぶと

曲の終了時に曲名/アーティスト名を自動的に一覧表に記録します。曲の途中でもジョイスティックで決定すると記録できます。

ペイ・パー・ビュー、 ペイ・パー・シリーズを見る

ペイ・パー・ビュー(PPV)を見る

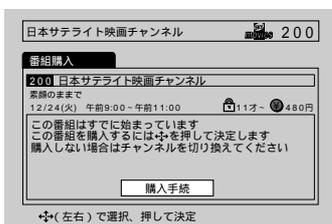
ペイ・パー・ビュー(PPV:PAY PER VIEW)とは「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入する番組の事です。

ペイ・パー・ビューには、プレビュー(事前視聴)を見られる場合があります、番組購入前に内容を確認することができます。

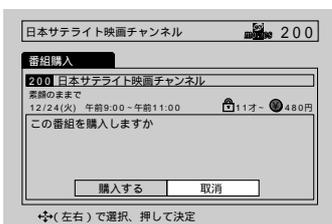
ペイ・パー・ビューを見るときは、必ず電話回線を接続してください。



1 ペイ・パー・ビュー(PPV)などの有料番組を選ぶ。



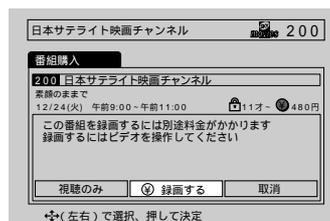
2 番組を購入する場合は、ジョイスティックで決定する。



3 ジョイスティックの<=>/=>で「購入する」を選び、決定する。

「この番組を記録するには別途料金がかかります」という表示が出たら

録画有料番組となります。「記録する」の前に「Ⓢ」マークがつけます。録画有料番組で「記録する」を選ぶと録画防止信号が解除され、接続したビデオで録画できるようになります。



- 録画する場合は「Ⓢ 記録する」を選び、決定します。
- 録画しないで番組を見る場合は、「視聴のみ」を選び、決定します。
- 購入をやめる場合は「取消」を選び、決定します。

「この番組は記録できません」という表示が出たら

- 購入する場合は「視聴のみ」を選び、決定します。
 - 購入をやめる場合は「取消」を選び、決定します。
- 番組によっては「この番組はi.LINKでは記録できません」または「この番組はアナログでは記録できません」という表示が出ることもあります。

追加信号について

番組によっては、標準の映像/音声を含めて最大4種類の映像、音声、データなどを発信しています。番組購入時に、映像/音声/データを選ぶ画面で、追加したい信号を選んで番組を楽しむことができます。ここで選んだ情報は、番組説明画面の「信号切替」で切り換えることができます。(「信号を切り換える」18ページ)

なお、「Ⓢ」マークのついた映像、音声、データなどを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

「購入時間が過ぎているなどのため購入できません」という表示が出たら

番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

また、番組の購入可能件数を越えたときにもこの表示が出ます。

番組購入に関してのご質問、ご相談は、スカイパーフェクTV! カスタマーセンターまでお問い合わせください。

「この番組はご契約いただくと視聴できません。番組に関する詳細はスカイパーフェクTV! カスタマーセンターにお問い合わせください」という表示が出たら

受信契約を行っていない場合は契約を行ってください。契約に関してのご質問、ご相談は、スカイパーフェクTV! カスタマーセンターまでお問い合わせください。チャンネルを変えれば他の番組をご覧になります。

プレビューについて

- プレビューは番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見て番組を購入しない場合は、チャンネルを変えてください。

録画防止機能について

- 本機は、録画防止機能(コピーガード)がついています。番組によっては録画できないものがありますのでご注意ください。
- また、本機は著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイ・パー・ビューでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。
- また、本機はDTLAのコピー・プロテクション技術に対応しています。DTLAについて詳しくは、35ページをご覧ください。

ご注意

購入操作の途中で他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、番組を選び直してからもう一度、「ペイ・パー・ビュー(PPV)を見る」(22ページ)の操作を行ってください。

ペイ・パー・ビューの購入合計額(概算金額)を見る



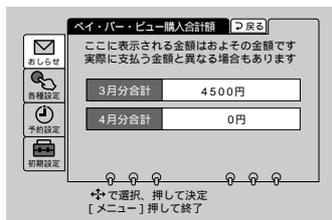
1 メニューボタンを押す。

2 ジョイスティックの↑/↓で「おしらせ」を選び、決定する。



3 ジョイスティックの↑/↓で「ペイ・パー・ビュー購入合計額」を選び、決定する。

購入したペイ・パー・ビュー番組の前月分と今月分の概算金額が表示されます。



4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

「ペイ・パー・ビュー購入合計額」には、ペイ・パー・シリーズなど、ペイ・パー・ビュー以外のサービスの購入金額は含まれていません。

ペイ・パー・ビュー、ペイ・パー・シリーズを見る(つづき)

ペイ・パー・シリーズの一覧を見る

シリーズで購入できる有料番組の一覧を表示したり、契約済みのシリーズ番組を確認したりできます。



1

メニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

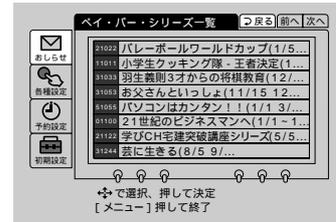
2

ジョイスティックの↑/↓で「おしらせ」を選び、決定する。



3

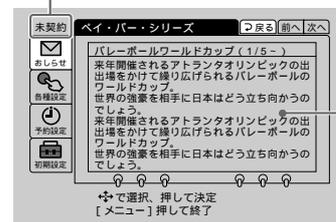
ジョイスティックの↑/↓で「ペイ・パー・シリーズ一覧」を選び、決定する。
シリーズで契約できる番組一覧が表示されます。



4

ジョイスティックの↑/↓でシリーズ名を選び、決定する。
シリーズの詳細説明と、契約状況が表示されます。
「ペイ・パー・シリーズ一覧」の画面に戻るには、「戻る」を選んでください。

契約状況



5

メニューボタンを押して、メニューを消す。

番組紹介(プロモーション)を見る

放送局が発信するプロモーション用のチャンネルを見られます(プロモ画面)。また、現在放送中の番組をマルチ画面で同時に見たり、放送局や番組の紹介を見たりできます。



プロモボタンを押す。
 次のように画面が切り換わります。
 今見ている番組 マルチ画面 プロモ画面

マルチ画面

最大で16分割されたマルチ画面で、同時に各チャンネルを見ることができます。



マルチ画面から番組を選ぶには
 ジョイスティックで見たい番組にカーソルを合わせ、押し決定する。
 選んだ番組のチャンネルに切り換わります。

番組説明を見るには
 ジョイスティックでカーソルを動かして番組を選び、番組説明ボタンを押す。
 選んだ番組の説明が表示されます。
 もう一度押すと、マルチ画面に戻ります。

プロモ画面

放送局や番組の紹介、サービス説明などが見られるプロモーションチャンネルです。
 番組説明ボタンを押すと、プロモーションチャンネルのサービス説明が表示されます。もう一度押すとプロモ画面に戻ります。

下表の表示が出ているときは
 ジョイスティックの↑/↓で選び、決定する。

項目	機能
「選局」	紹介されている番組のチャンネルが選局されます
「番組説明」	プロモーション放送中の番組説明を見られます
「CH説明」	紹介されているチャンネルのサービス内容を見られます
「番組表」	紹介されているチャンネルなどの番組表を見られます(この画面で選局はできません)
「戻る」	元の画面に戻ります

ちょっと一言

- マルチ画面での画面の分割数、紹介する番組は、放送局が決めています。
- プロモ画面で または が表示されているときは、どちらかを選んで決定ボタンを押すと、前のページまたは次のページを見ることができます。
- 放送局によってはプロモーションチャンネルがない場合があります。

本機でできる番組の予約について

本機でできる番組の予約方法は以下のとおりです。お手持ちの機器に合わせて、予約方法を選んでください。

視聴予約

- 「見たい番組を予約する(視聴予約)」...26ページ
予約した時刻になると自動的に本機の電源が入り、予約した番組が始まります。

ビデオの録画予約(アナログ)

- 「AVマウスを使って録画予約する」...28ページ
付属のAVマウスを使って、ビデオデッキを本機に連動させて簡単に録画予約ができます。ビデオデッキでの予約時間設定は不要です。録画の冒頭に、番組のタイトル(いれたいとる)を入れることもできます。
- 「ビデオデッキの予約機能を使って録画予約する」...33ページ
本機とビデオデッキのそれぞれで予約設定をします。

i.LINK対応機器の予約(デジタル)

- 「i.LINK対応機器に予約する」...32ページ

ご注意

インタラクティブ放送(ミュージックダウンロードなど)の予約は、ミュージックダウンロードなどの画面に表示される予約のボタンで行ってください。

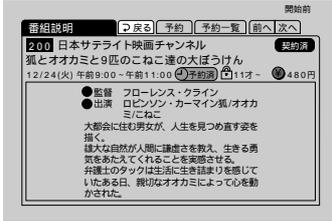
見たい番組を予約する(視聴予約)

見たい番組を予約できます(視聴予約)。視聴予約をすると、番組の開始時刻に自動的に本機の電源が入り、予約した番組を見られます。

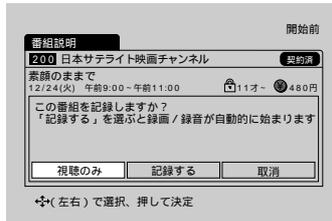
本機では、録画予約と合わせて24件まで番組を予約できます。



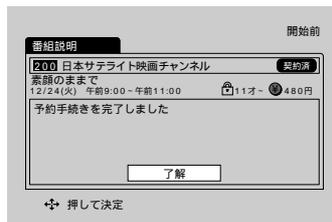
- 1 週間番組表(12ページ)で予約したい番組を選び、ジョイスティックで決定、または番組説明ボタンを押す。
番組説明の画面が表示されます。



- 2 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で「予約」を選び、決定する。



- 3 ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で「視聴のみ」を選び、決定する。



- 4 ジョイスティックで決定する。
番組表の画面に戻ります。
予約した番組が始まると、本体の予約実行中ランプが点灯します。

ご注意

- 開始時刻を過ぎている番組は予約できません。
- 視聴予約実行中は、すべてのボタン操作ができますが、チャンネル切換・衛星切換・メニュー操作などをすると予約は解除されますのでご注意ください。
- 二重音声の放送を視聴予約したとき、音声は予約実行前に選択してあった音声モード(「主」、「副」または「主/副」)が自動的に選ばれます。

視聴年齢制限のある番組の場合

暗証番号設定済みの場合は、暗証番号を入力してください。

暗証番号を設定していない場合は、暗証番号と視聴制限年齢を設定してください。

詳しくは「視聴年齢制限を設定する」(60ページ)をご覧ください。

AVマウスを使って 録画予約する

付属のAVマウスをつなぐと、本機とビデオデッキを連動させて録画予約ができます。ビデオデッキで録画予約の設定をする必要はありません。また、録画の冒頭にタイトルを入れたり、番組の開始時刻の変更に対応して番組を最後まで録画したりできます。

本機では、視聴予約と合わせて24件まで番組を予約できます。

予約の前に、AVマウスの接続と設定を行ってください。接続については、「手順5：ビデオデッキをつなぐ」(52ページ)をご覧ください。

AVマウスを設定する

ビデオデッキを操作するためにAVマウスから発信される信号を、お手持ちのビデオデッキのリモコンモードに合わせて設定します。

設定を始める前に、ビデオデッキの電源は切っておいてください。

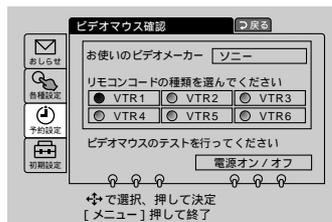


- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「予約設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「AVマウス (ビデオマウス)確認」を選び、決定する。



- 4 ジョイスティックの↑/↓/←/→でお使いのビデオのメーカー名を選び、決定する。

例)ソニー



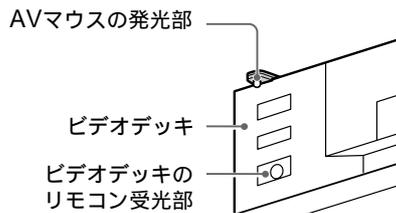
- 5 ジョイスティックの↑/↓/←/→でリモコンコードを選び、決定する。

メーカー	リモコンコード					
ソニー*	VTR1	VTR2	VTR3	VTR4	VTR5	VTR6
松下	1	2	3	4	5	
東芝	1	2				
日立	1	2				
三菱	1	2	3	4		
日本ビクター	1	2	3	4		
サンヨー	1	2	3	4		
アイワ	1	2	3			
シャープ	1	2	3			
NEC	1	2	3	4		
フナイ	1					
フィリップス	1					

* お買い上げ時はソニーのビデオデッキ「VTR3」を操作できるように設定されています。

6

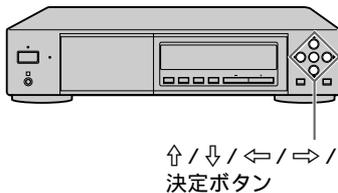
取り付け予定位置を決める。
ビデオデッキのリモコン受光部位置を確認し、
受光部の真上にAVマウスを置きます。



7

(AVマウスの動作テストをします)

チューナー本体の↑/↓ボタンで「電源オン/オフ」を選び、決定ボタンを押す。



必ず本体で操作してください。リモコンで操作すると誤動作することがあります。
ビデオデッキの電源が入ると、設定は完了です。

お手持ちのビデオデッキにリモコンコードがいくつかある場合は、ビデオデッキが操作できるようになるまで、リモコンコードの設定を変えてテストしてください。なお、本機のリモコンコード番号とビデオデッキ側のリモコンコード番号が異なっても、操作できる場合があります。

8

「電源オン/オフ」が選ばれていることを確認して、もう一度本体の決定ボタンを押す。

ビデオデッキの電源が切れます。

9

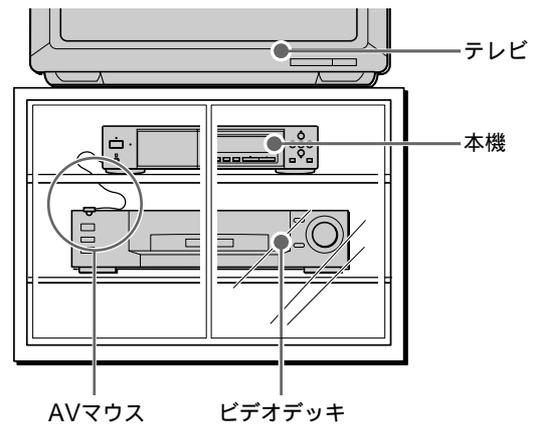
動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。



* AVマウスのテープの代わりに、市販の両面テープもご利用いただけます。

10

手順6で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。



設定、取り付けが終わったら、無料番組などで予約録画できることをもう一度確かめてから、ご使用になることをおすすめします。

ちょっと一言

- AVマウスがビデオデッキに届かない場合は、別売りの接続コード RK-G131 (3m) でコードを延長してください。
- ビデオデッキのリモコン受光部は、ビデオデッキの取扱説明書で確認してください。ソニー製のビデオデッキにはリモコン受光部付近にマークが記されています。

ご注意

- AVマウスは、本機に1つ付属しています。MDデッキとビデオデッキの両方にAVマウスを使う場合は、2つのAVマウスが必要です。別売りのAVマウスVM-50をご用意ください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、設定できないことがあります。そのときは、AVマウスは使用できません。ビデオデッキ側で録画予約してください。
- DST-700JS / 800JSに付属のビデオマウスは、本機では使用できません。

AVマウスを使って録画予約する (つづき)

録画予約する

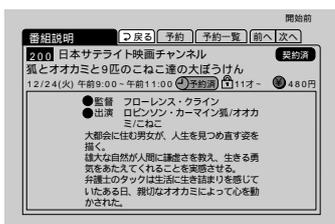
AVマウスを使って録画予約すると、録画の冒頭に番組のタイトルを入れることができます(いれたいとる)。

録画予約のご注意

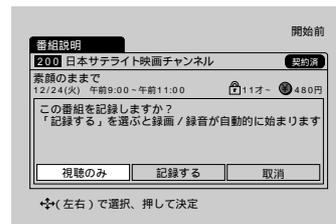
- ビデオの電源を切っておいてください。
電源が「入」になっていると、予約録画できない場合があります。
- ビデオの入力切り換えを、本機をつないだ入力に切り換えてください。



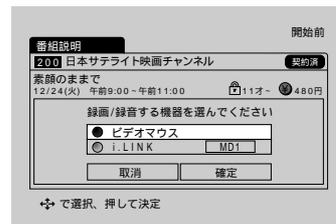
- 1 週間番組表(11ページ)で予約したい番組を選び、ジョイスティックで決定、または番組説明ボタンを押す。
番組説明の画面が表示されます。



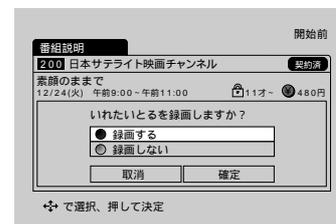
- 2 ジョイスティックの←/→で「予約」を選び、決定する。



- 3 ジョイスティックの←/→で「記録する」を選び、決定する。



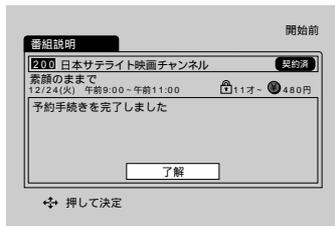
- 4 ジョイスティックの↑/↓で「ビデオマウス」を選び、決定する。
「いれたいとる」の選択画面が表示されます。



- 5 ジョイスティックの↑/↓で、録画の冒頭に番組のタイトルを録画するかどうかを選び、決定する。
タイトルを入れるときは「録画する」を選び、入れないときは「録画しない」を選んでください。

6

ジョイスティックの↑/↓/←/→で「確定」を選び、決定する。
これで予約手続きは完了です。



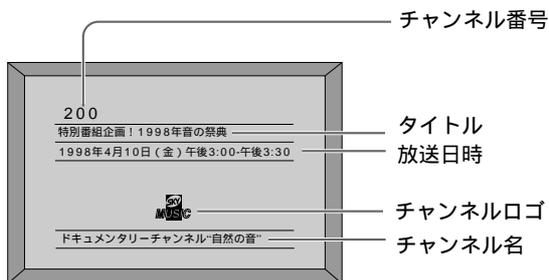
決定すると、番組表の画面に戻ります。
本体表示窓の予約表示が点灯し、記録が始まると予約実行中ランプが点灯します。

ちょっと一言

信号切換ができる番組の場合は、上の手順5の後で信号を切り換える画面が表示されます。記録したい信号を選び、確定します。

「いれたいとる」を「録画する」に設定すると録画の冒頭に、タイトル画面を録画できます。

タイトル画面の例



ペイ・パー・ビューなどの有料番組を予約する場合

有料番組の中には、録画するために別途料金が必要になる番組や、録画防止機能(コピーガード)によって録画できない番組もあります(23ページ)。

視聴年齢制限のある番組の場合

暗証番号設定済みの場合は、暗証番号を入力してください。

暗証番号を設定していない場合は、暗証番号と視聴制限年齢を設定してください。

詳しくは「視聴年齢制限を設定する」(60ページ)をご覧ください。

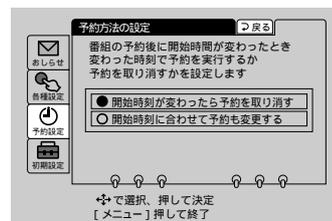
ご注意

- AVマウスを使って録画予約するときは、ソニーのビデオデッキのCSシンクロ録画機能を使わないでください。録画が正しく行われない場合があります。
- 録画予約実行中は、電源ボタン(本体/リモコン)のみ操作できます。電源ボタンを押すと電源が切れ、予約が解除されますのでご注意ください。
- 二重音声の放送を録画予約したとき、録画される音声は自動的に「主/副」モードになります。
- 録画予約したとき、ビデオデッキのAPC(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)機能などが働くと、録画の冒頭やタイトル画面が途切れる場合があります。

放送開始時刻の変更に対応させる

お買い上げ時は「開始時刻が変わったら予約を取り消す」に設定されています。予約していても、開始時刻が変わると予約はキャンセルされます。スポーツ番組の延長などのため、予約した番組の開始時刻が繰り下がったときに、録画開始時刻も自動的に合わせる事ができます。なお、予約した番組の終了時刻が繰り下がったときは、どちらに設定されていても自動的に放送時間に合わせて番組を最後まで録画します。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「予約設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「予約方法の設定」を選び、決定する。



- 4 ジョイスティックの↑/↓で「開始時刻に合わせて予約も変更する」を選び、決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- 「開始時刻が変わったら予約を取り消す」を選ぶと、開始時刻が変更された場合は予約自体が取り消されます。
- 「開始時刻に合わせて予約も変更する」を選んだときに、開始時刻が変更されて、次の予約番組と時間が重複すると、次の番組の予約は取り消されます。
- 番組によっては、開始時刻の変更に対応しない場合もあります。

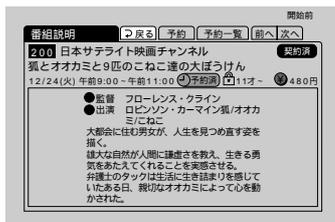
i.LINK対応機器に 予約する

i.LINK対応MDデッキと接続すると、本機と連動させて予約ができます。
本機での予約件数は、視聴予約と合わせて24件までです。

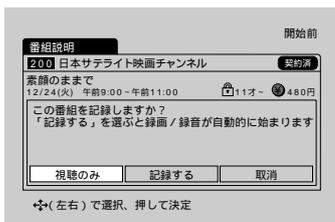
予約の前に、接続を行ってください。詳しくは、「手順7：i.LINK対応機器をつなぐ」(54ページ)をご覧ください。



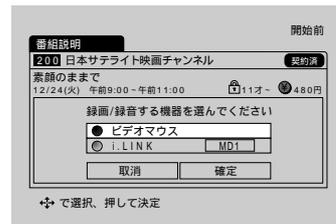
- 1 週間番組表(11ページ)で予約したい番組を選び、ジョイスティックで決定、または番組説明ボタンを押す。
番組説明の画面が表示されます。



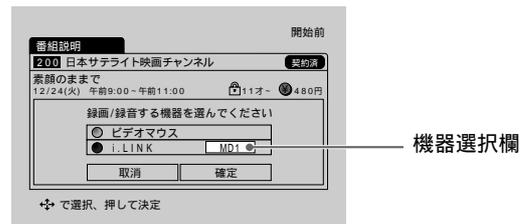
- 2 ジョイスティックの \leftarrow/\rightarrow で「予約」を選び、決定する。



- 3 ジョイスティックの \leftarrow/\rightarrow で「記録する」を選び、決定する。

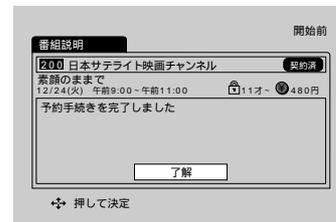


- 4 ジョイスティックの \uparrow/\downarrow で「i.LINK」を選び、決定する。
カーソルが機器選択欄に移ります。



- 5 機器選択欄に表示される機器から、ジョイスティックの \uparrow/\downarrow で予約したい機器を選び、決定する。

- 6 ジョイスティックの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ で「確定」を選び、決定する。
これで予約手続きは完了です。



決定すると、番組表の画面に戻ります。
本体表示窓の予約表示が点灯し、記録が始まると予約実行中ランプが点灯します。

ちょっと一言

- 信号切換ができる番組の場合は、上の手順5の後で信号を切り換える画面が表示されます。記録したい信号を選び、確定します。
- 本機はDTLAのコピー・プロテクション技術に対応しています。DTLAについて詳しくは、35ページをご覧ください。
- 予約実行中にi.LINKで接続された他の機器を操作すると、記録が途切れる場合があります。
- i.LINK機器の予約終了後は、予約した機器がLINCされたままになる場合があります。

ビデオデッキの予約機能 を使って録画予約する

お手持ちのビデオデッキの予約機能を使って、録画予約できます。



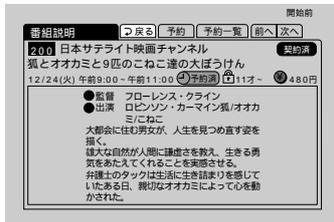
1 お手持ちのビデオデッキで、録画予約の設定をする。

予約したい番組の開始時刻・終了時刻と、本機をつないだ入力(「入力2」など)を設定します。詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

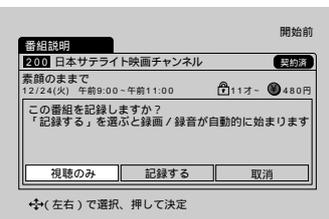
ビデオデッキで予約設定をして、本機のチャンネルを予約したい番組に合わせて電源を入れたままにしておけば、録画は行われます。予約した時間に自動的に本機の電源が入るように設定したい場合は、手順2以降を行ってください。

2 本機のEPG(週間番組表)(11ページ)で予約したい番組を選び、ジョイスティックで決定、または番組説明ボタンを押す。

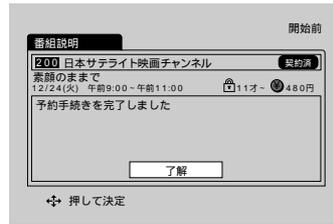
番組説明の画面が表示されます。



3 ジョイスティックの←/→で「予約」を選び、決定する。



4 ジョイスティックの←/→で「視聴のみ」を選び、決定する。



5 ジョイスティックで決定する。番組表の画面に戻ります。本体表示窓の予約表示が点灯し、予約した番組が始まると予約実行中ランプが点灯します。

ペイ・パー・ビューなどの有料番組を予約する場合

有料番組の中には、録画するために別途料金が必要になる番組や、録画防止機能(コピーガード)によって録画できない番組もあります(23ページ)。

視聴年齢制限のある番組の場合

暗証番号設定済みの場合は、暗証番号を入力してください。暗証番号を設定していない場合は、暗証番号と視聴制限年齢を設定してください。詳しくは「視聴年齢制限を設定する」(60ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

ソニーのCSシンクロ録画機能付きのビデオデッキをお使いの場合は、CSシンクロ録画機能の予約設定が優先されます。

ご注意

- 録画予約実行中は、電源ボタン(本体/リモコン)のみ操作できます。電源ボタンを押すと電源が切れ、予約が解除されますのでご注意ください。
- 録画予約した番組の放送開始時刻の変更には、対応できません。
例：スポーツ番組の延長などのため番組の開始時刻が繰り下がったとき、予約した番組は途中までしか録画されません。ペイ・パー・ビューなどの有料番組の場合は、途中までの録画でも料金が掛かりますのでご注意ください。
- 二重音声の放送を録画予約したとき、録画される音声は自動的に「主/副」モードになります。
- 予約した番組の開始前には、番組のタイトルが約15秒間表示されます。録画予約したとき、ビデオデッキが録画を開始するタイミングによっては、タイトルが録画されることがあります。

予約を確認する・取り消す

予約した番組の一覧を見ることができます。
また、表示された予約一覧画面から、予約を取り消すことができます。



ちょっと一言

番組説明画面から、予約一覧画面を表示させることもできます。詳しくは「番組説明を見る」(17ページ)をご覧ください。

ご注意

インタラクティブ放送の中で番組を予約すると、予約方法の欄に「インタラクティブ放送」と表示されます。

本機ではインタラクティブ放送の中での予約も番組単位で行うため、予約一覧画面で取り消すと、番組全体の予約が取り消されます。

この予約の詳細についての確認・取り消しは、予約したインタラクティブ放送のチャンネルで行ってください。

1

予約一覧ボタンを押す。

予約一覧画面が表示されます。予約状況を確認してください。

「前へ」「次へ」を選ぶと、前のページ/次のページが表示されます。

「いれたいとる」を設定すると表示されます



予約方法
(予約機器)表示

予約を取り消すには手順2~4の操作をしてください。何も変更しない場合は手順4へすすんでください。

2

ジョイスティックの↑/↓で取り消したい番組を選び、決定する。

3

ジョイスティックで「予約取消」を選び、決定する。

予約は取り消されます。

4

ジョイスティックの↑/↓で「戻る」を選び、決定する。

i.LINK(アイリンク)について

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。i.LINKを使って操作を始める前にお読みください。

なお、i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については、「本機でできるi.LINKの操作について」(36ページ)をご覧ください。

i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。

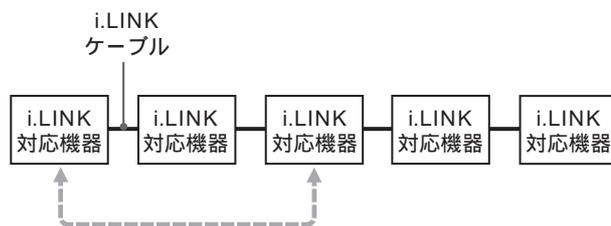
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術のひとつは、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

i.LINKでの接続について

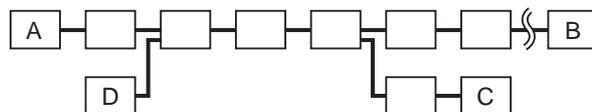
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デジー・チェーン」と呼びます。



2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐこともできます

- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINKの規格上、i.LINK対応機器は本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。(i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。) ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA Cの経路は6ホップ、A Dの経路は3ホップとなります。

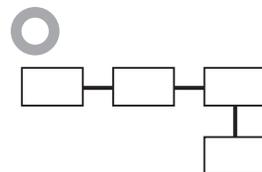
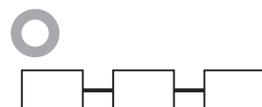
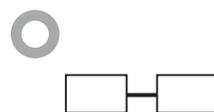


A B、A C、A D、B C、B D、C D、
いずれの経路も最大17台の機器を接続できます
(最大16ホップ)。

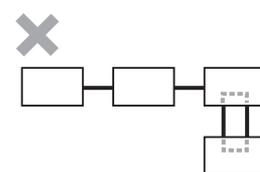
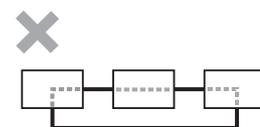
接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪(環状)になることを「ループ」と呼びます。

正しい接続例



ループの接続例



次のページにつづく

i.LINK(アイリンク)について (つづき)

接続についてのご注意

- パソコンなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100 / 200 / 400Mbps*が定義されており、200MbpsのものはS200、400MbpsのものはS400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
- 本機とi.LINK対応機器を接続してお使いの場合は、使用していない他の機器のi.LINKケーブルを抜き差ししたり、電源のオン/オフを行わないでください。

* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200Mbpsならば、1秒間に200メガビットのデータを送ることができます。

本機でできるi.LINK の操作について

ここでは、本機におけるi.LINKを使った接続のご注意や操作のしかたを説明します。

i.LINKの一般的な規格や特長については、「i.LINKについて」(35ページ)をご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

i.LINK対応機器の接続には、本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、下記のソニー製i.LINKケーブル(別売り)をお使いください。

(1999年5月現在)

- VMC-IL4415(1.5 m)
- VMC-IL4435(3.5 m)

ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

本機で操作できるi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器を操作できます。

- ソニーミニディスクデッキ MDS-DL1
(1999年6月発売予定)

ご注意

デジタルビデオデッキ、デジタルビデオカメラ、パソコンをつないで操作することはできません。

本機とi.LINK対応機器の接続について詳しくは、「手順7：i.LINK対応機器をつなぐ」(54ページ)をご覧ください。

操作したいi.LINK対応機器をLINC (リンク)する

本機は、ケーブルで接続しただけでは操作できません。i.LINK対応機器を操作する前に、必ず操作したい相手の機器をLINCしてください。

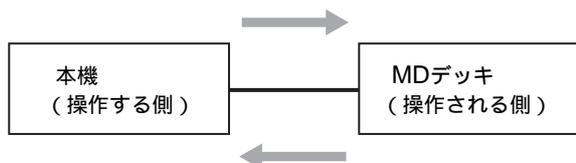
リンク

「LINCする」とは？

本機(i.LINK対応機器を操作する側)は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち1台だけを操作できます。「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。本機と相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例)MDデッキをLINCするとき

- ①「これから操作してもいいですか？」と本機がMDデッキに信号を送る



- ②「了解です」とMDデッキが本機に信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。

ちょっと一言

LINCとは、Logical Interface Connection (ロジカル・インターフェース・コネクション:「論理的な接続を行う」の意)の略です。

本機で操作したい機器をLINCするには

リモコンのi.LINKボタンを押すと、コントロールパネルが表示されます。コントロールパネルに表示された機器の中から、操作したい相手の機器を1台選びます。

1 リモコンのi.LINKボタンを押す。

i.LINK対応機器がLINCされていないときは、以下のようなコントロールパネルが表示されます。

コントロールパネル



接続機器表示欄

LINCできる機器が5台まで表示されています。

接続した順に

「MD1」「MD2」「MD3」...のように表示されます。

2 ジョイスティックでLINCしたい機器を選び、決定する。

例)MD2をLINCしたとき

ランプが点灯します。コントロールパネルの電源ボタンで電源を入れると、MD2を操作できるようになります。

コントロールパネル



ランプ

ちょっと一言

- 本機では、他の機器を一度LINCすると、LINCの設定を変えない限りその機器をいつも自動的にLINCします。他の機器をLINCして電源を切っても、もう一度電源を入れるとその機器をLINCした状態になっています。

- 上の手順1で、接続機器表示が灰色になっている機器は、i.LINKケーブルまたは電源コードが抜けていると考えられます。この場合、機器をLINCすることはできません。
- LINCする機器を変更したいときは、コントロールパネルで別の機器を選びます。ただし、LINCしている機器が記録中のときは、変更できません。
- i.LINK対応機器がLINCされた状態でリモコンのi.LINKボタンを押すと、コントロールパネルを消すことができますが、LINCは解除されません。
- i.LINK対応機器の記録中に、i.LINKで接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器をi.LINKで接続したりしないでください。記録中のデータが途切れることがあります。

エラーメッセージについて

i.LINKボタンを押したときやi.LINK対応機器をLINCしようとしたときに、エラーメッセージが表示されることがあります。詳しくは「メッセージ一覧(67ページ)」をご覧ください。

6台以上の機器をつないでいるときは (LINCできる機器を変更するには)

コントロールパネルの接続機器表示欄に表示されている機器が、現在LINCできる機器です。

6台以上の機器をつないでいて、コントロールパネルに表示されていない機器を操作したいときは、本機で操作できる5台を選択し直してください。

詳しくは、「LINCできるi.LINK対応機器を変更する」(41ページ)をご覧ください。



接続機器表示欄

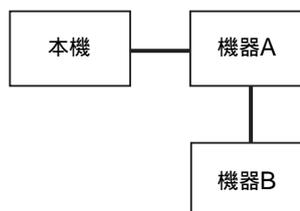
LINCできる機器が5台まで表示されています。

「MD1」がLINCされています。

(i.LINK機器名のランプが点灯しています。)

本機で機器のLINCをいったん解除するには

本機とLINCしている機器Aは、本機とのみやりとりができます。i.LINKで接続されている他の機器Bが機器Aとやりとりを行う場合は、本機と機器AとのLINCを解除する必要があります。



本機の電源を切るか、機器設定の画面で「LINC解除」を選ぶと、LINCを解除することができます。機器設定の画面について詳しくは、41ページをご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK機器の予約終了後は、予約した機器がLINCされたままになる場合があります。

MDデッキを 操作する

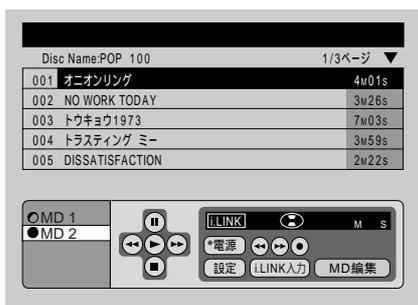
本機とi.LINKで接続したMDデッキを操作できます。MDデッキの操作について詳しくは、MDデッキの取扱説明書をご覧ください。



1 i.LINKボタンを押す。
コントロールパネルが表示されます(6ページ)。

2 ジョイスティックの↑/↓/←/→でLINCしたいMDデッキを選び、決定する。

例)MD2をLINCしたとき
MD2を操作できるようになります。



3 ジョイスティックの↑/↓/←/→でコントロールパネルの操作したいボタンを選び、決定する。

本機でできる操作

操作	ボタン	操作	ボタン
電源入/切	「電源」	再生しながら 早送り	▶▶
再生	▶	再生しながら 早戻し	◀◀
停止	■	録音	●
一時停止/解除			
次の曲を頭出し	▶▶▶		
今の曲を頭出し	◀◀◀		

▶ボタンを押すと、画面で選ばれている曲が再生されます。最後の曲まで再生した後、停止します。

再生一時停止を解除するには、▶ボタンまたは||ボタンを押します。

●ボタンを押すと、録音待機(一時停止)状態になります。カーソルが||ボタンの上に移動します。そのまま決定すると、録音が始まります。

ご注意

- i.LINK対応MDデッキを本機にi.LINKで接続して使うときは、AVマウスを同時に使用しないでください。また、AVマウス対応MDデッキをあわせて使用する場合は、i.LINK対応MDデッキをAVマウスから離してご使用ください。
- 接続したMDデッキによっては、1曲目から2曲目の頭出しをするときのみ、▶▶▶ボタンを2回押さなければならないことがあります。

MDを編集する

MDに記録された曲名や録音時間などをテレビ画面上に表示できます。さらに、曲の削除や曲順入れ替え、曲名入力などの編集を行うことができます。



MD編集画面を表示させる

- 1 i.LINKボタンを押す。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 ジョイスティックの↑/↓/←/→で操作したいMDデッキを選び、決定する。
選んだ曲名が黄色表示になります。
MDデッキは停止しておいてください。
- 3 ジョイスティックの↑/↓/←/→でコントロールパネルの「MD編集」ボタンを選び、決定する。
MD編集画面が表示されます。



ご注意

- MDデッキがシャッフルモードなどになっていると、編集できません。MDデッキで解除してください。
- 編集中にMDデッキを操作すると、自動的にMDコントロールパネルの画面に戻ります。

曲順を入れ替える

曲順を入れ替えて、お好みの順番にすることができます。

- 1 MD編集画面で、ジョイスティックの←/→で「曲順入替」を選んで決定する。
カーソルが1曲目に移動します。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で移動したい曲を選び、決定する。

例：002を選んだとき



- 3 ジョイスティックの↑/↓で移動先の場所まで移動させる。

例：005へ移動したとき



- 4 決定する。
画面に「実行」が表示され、カーソルが移動します。
移動する場合は決定します。移動しない場合は、「取消」にカーソルを合わせて決定します。

曲名表示を切り換える

曲名の表示を、カナ表示と漢字表示とで切り換えられます。カナ表示では半角の文字で、漢字表示では全角の文字で曲名が表示されます。

漢字は、MDに漢字の曲名データがあるときのみ表示されます。

MD編集画面で、ジョイスティックの ← / ⇒ で「表示切換」を選んで決定する。

決定するたびに、曲名がカナ表示と漢字表示とで切り換わります。

カナの曲名を漢字表示画面に表示させる (曲名コピー)

漢字の曲名データがないときに「表示切換 漢字」にすると、曲名欄が空欄になります。カナの曲名をそのまま全角の文字にして漢字画面の曲名表示欄に表示させ、空欄を埋めることができます。

- 1 MD編集画面で、「表示切換」を選んで決定し、「表示切換 漢字」にする。
曲名が漢字表示に切り換わります。
漢字の曲名データがないときは、空欄になっています。
- 2 ジョイスティックの ← / ⇒ で「曲名コピー」を選んで決定する。
カーソルが1曲目に移動します。
- 3 ジョイスティックの ↑ / ↓ で、カナの曲名を漢字表示部分にコピーしたい曲を選び、決定する。
画面に「実行」が表示され、カーソルが移動します。コピーする場合は決定します。コピーしない場合は、「取消」にカーソルを合わせて決定します。



ちょっと一言

「曲名コピー」を行うと、曲名が全角の文字になるため、画面に表示される文字数がカナ表示よりも少なくなります。

i.LINKの設定を変える



LINCできるi.LINK対応機器を変更する

本機のコントロールパネルに表示される機器 (LINCできる機器) は5台までです。接続していて、コントロールパネルに表示されていない機器をLINCしたいときは、LINCできる5台の機器を選択し直してください。このとき、機器を停止してから行ってください。

機器のLINCについて詳しくは、「操作したいi.LINK対応機器をLINCする」(36ページ)をご覧ください。

例) MD2の代わりに、新たにつないだMDデッキを選択する場合

- 1 i.LINKボタンを押す。
コントロールパネルが表示されます。
- 2 ジョイスティックの ↑ / ↓ / ← / ⇒ でコントロールパネルの「設定」ボタンを選び、決定する。
機器変更の画面が表示されます。
「設定」ボタンは、LINCした機器が停止中、または電源が切れているときのみ働きます。

LINCしている機器のランプが点灯します

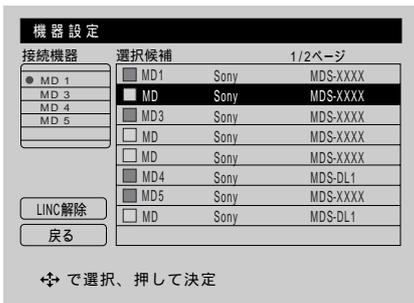
LINCできる機器 (接続機器) のランプが点灯します



i.LINK対応機器のメーカー名
機種名 (メーカー名・機種名は表示されないこともあります。)

i.LINKの設定を変える(つづき)

- 3 ジョイスティックの↑/↓/←/→でカーソルをMD2(選択を解除したい機器)に移動し、決定する。
「接続機器」からMD2が消えます。



- 4 ジョイスティックの↑/↓で登録したいMDデッキにカーソルを移動し、決定する。
選んだMDデッキが「接続機器」に追加され、LINCできる状態になります。メーカー名、機種名は表示されないこともあります。また、使用できない機器は「操作できない機器です」と表示されます。



ちょっと一言

- 本機に最初につないだ5台の機器は、つないだ順に自動的に「接続機器」として登録されます。
- 「接続機器」に登録された機器のケーブルをはずしても、本機の画面上では「接続機器」として登録されたままです。ただし、ケーブルが繋がっていないとLINCすることはできません。
- 5台の「接続機器」のうち、LINCしている機器および予約されている機器(⊖マーク)は、はずすことはできません。

本機で機器のLINCをいったん解除する

本機の電源を切るか、機器変更の画面で「LINC解除」を選ぶと、LINCを解除することができます。詳しくは、「本機で機器のLINCをいったん解除するには」(37ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK機器の予約終了後は、予約した機器がLINCされたままになる場合があります。

EZ(イージー)パネルで操作する

EZ(イージー)パネルを使うと、リモコンのEZパネルボタンとジョイスティックだけで、5つのリモコンボタンの機能をテレビ画面で簡単に操作できます。

映画などを見るために部屋を暗くしていて、リモコンのボタン名が見えないときに便利です。



1

EZパネルボタンを押す。
EZパネルが表示されます。



2

ジョイスティックの \leftarrow / \rightarrow で操作を選び、決定する。

それぞれ、リモコンの同名のボタンと同じ働きをします。

選んだ操作の画面が表示されます。

- 「現在番組」
EPG(現在番組表)を表示します。(9ページ)
- 「週間番組」
EPG(週間番組表)を表示します。(11ページ)
- 「好み一覧」
好みチャンネルの一覧を表示します。(15ページ)
- 「予約一覧」
予約番組の一覧を表示します。(34ページ)
- 「i.LINK」
i.LINKのコントロールパネルを表示します。(6ページ)

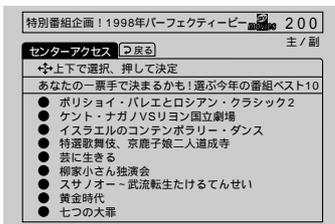
視聴者参加の投票や申し込みをする(センターアクセス)

視聴者参加型の番組では、人気投票やクイズ、ショッピングなど画面を通じて番組に視聴者が参加できます。

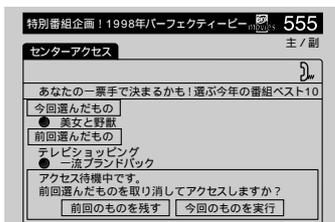


例) 視聴者参加型の番組を見ていて番組中に投票や申し込み画面が表示されたら

1 ジョイスティックで決定する。



2 ジョイスティックで投票、申し込みする項目を選び、決定する。 申し込みできる項目は一つです。



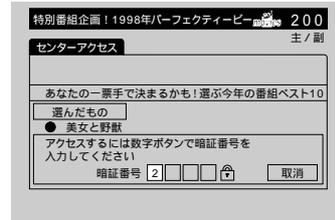
3 ジョイスティックの<=>/=>で「今回のものを実行」を選び、決定する。 「アクセス中」と表示されます。電話回線を通じて投票や申し込みを実行しています。「アクセス中」の表示が消えると投票、申し込み完了です。

電源が切れたり停電した場合は

アクセス中に電源が切れたり停電になったりすると、正しくアクセスできない場合があります。

暗証番号入力画面が表示されたときは

- 1 ジョイスティックで決定して、数字ボタンを押して暗証番号を入力する。
あらかじめメニューで暗証番号を設定しておいてください。(60ページ)



数字を押し間違えたときは、ジョイスティックの<=>で桁を戻します。

2 ジョイスティックで決定する。

このあとは、画面の指示に従って操作してください。

「アクセス完了」と表示されれば、投票や申し込みは成立しました。同じ投票画面で2回投票することはできません。

電話回線の混雑などで投票や申し込みに失敗すると「アクセス失敗」と表示され、投票や申し込みは不成立になります。もう一度、左の手順1からやり直してください。

「アクセス失敗」のまま番組が終了してしまったら

投票・申し込みの有効期限内であれば、メニューの「センターアクセス」でやり直すことができる場合があります。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「おしらせ」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「センターアクセス」を選び、決定する。
- 4 ジョイスティックの↑/↓で「アクセス再実行」を選び、決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- 新しい投票や申し込みを実行すると、以前の投票や申し込みは消去されます。
- 前回と今回の投票が表示されるので、今回の投票を実行する場合は「今回のものを実行」を、前回の投票を実行する場合は「前回のものを残す」を選んでください。
- 前回に不成立だった投票や申し込みをやり直しても、すでにその有効期限が終了しているときは、不成立になります。
- 契約されていない番組の投票は、無効となります。

放送局からののお知らせ を見る(ボード・メール)

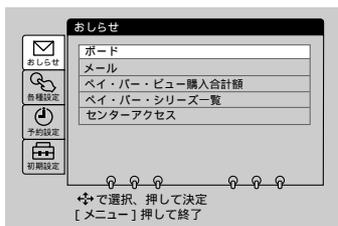
視聴状況などのお知らせを見ることができます。
お知らせには、ボード(共通のお知らせ)とメール(個人へのお知らせ)があります。
ボードは、放送局から利用者全員へのお知らせです。メールは、放送局からの各個人あてのお知らせなどです。
メニューで選ぶと、その時点での最新のボード、メールが表示されます。

ボードを見る

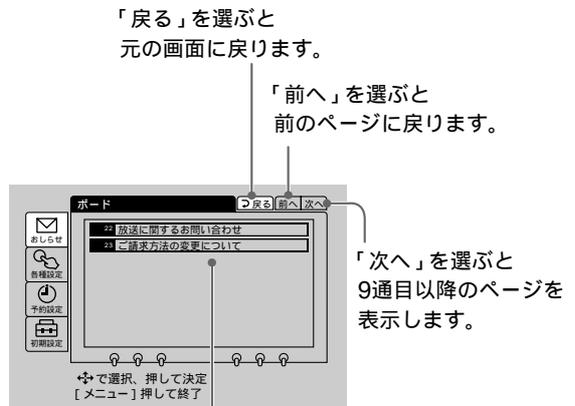


1 メニューボタンを押す。

2 ジョイスティックの↑/↓で「お知らせ」を選び、決定する。

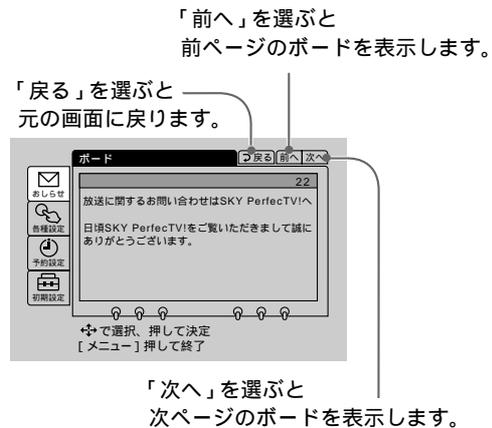


3 ジョイスティックの↑/↓で「ボード」を選び、決定する。
ボードを一覧表示します。送られてきていない場合は「現在ボードの情報はありません」と表示されます。



ボード一覧
1ページに最大8通表示します。

4 ジョイスティックの↑/↓で見たいボードを選び、決定する。
選んだボードの内容が表示されます。



5 ボードを読み終えたら、メニューボタンを押して、メニューを消す。

その他の操作や設定

放送局からのお知らせを見る (つづき)

メールを見る

メールが送られてきているときは、本体表示窓の「メール」が点灯します。

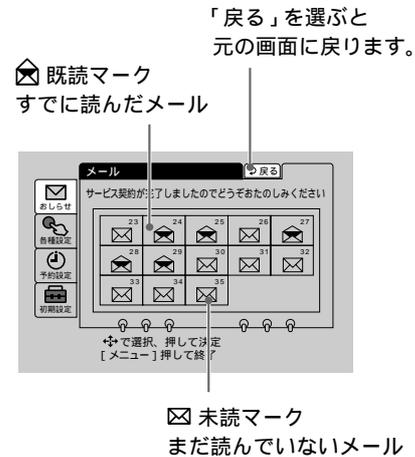


1 メニューボタンを押す。

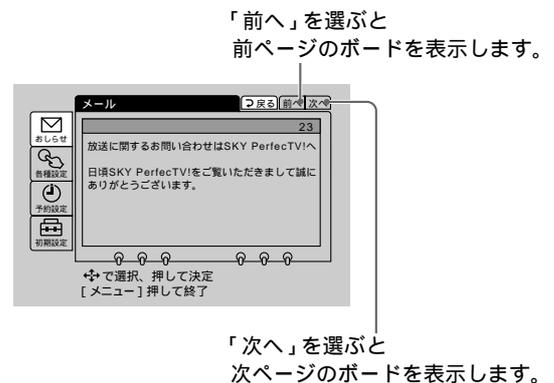
2 ジョイスティックの↑/↓で「おしらせ」を選び、決定する。

3 ジョイスティックの↑/↓で「メール」を選び、決定する。

メールを15通まで一覧表示します。15通を超える場合は、送られてきた順に削除され、新しいメールが追加されます。送られてきていない場合は「メールはありません」と表示されます。



4 ジョイスティックの↑/↓/←/→で見たいメールを選び、決定する。



5 メールを読み終えたら、メニューボタンを押して、メニューを消す。

「電話回線が接続されていませんのでご確認ください」という表示が出たら

接続については「電話回線につなぐ」(50ページ)、接続確認については「電話回線を設定する」(59ページ)をご覧ください。

ご注意

停電が起きたり、電源コードを抜くと、メールは消去されます。

ちょっと一言

メールでは「電話回線が繋がれていません 正しく接続してください」という情報や、録画予約できなかったときの状況などもお知らせします。

ダウンロードを行う

本機は、衛星から送られてくる信号をダウンロードすることにより、内部のソフトウェアを書き換えることができます。ダウンロードすることにより、常に最新のソフトウェアで本機をご使用いただけます。メール(46ページ)でダウンロードに関するお知らせがあった場合は、次の手順でダウンロードを行います。

注意事項をよく読み、画面の指示に従って操作してください。

ダウンロードの準備

- リモコンの衛星切換ボタンを押して、スカイサービスの放送を受信してください。本体表示窓に「衛星B」が表示されます。202チャンネル(無料放送)を選局してください。
- メニューの「初期設定」から「アンテナレベル確認」を選び、アンテナレベルが18以上であることを確認してください。18以上でない場合、ダウンロードできないことがありますので、天候の良い日に再度行ってください。

ダウンロードのご注意

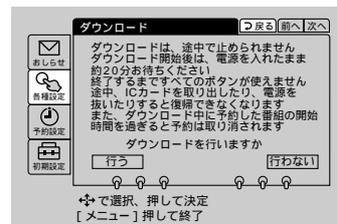
- ダウンロードには10~20分かかります。途中で停止することはできません。電源を入れたままお待ちください。
- ダウンロード中は一切の操作ができません。i.LINK対応機器の操作も行わないでください。
- ダウンロード中にICカード挿入口のふたを開けたり、電源が切れたりすると、ダウンロードが長びくことがあります。
- ダウンロード中に、予約した番組の開始時刻を過ぎると、予約は取り消されます。
- ダウンロード中に降雨などによりデータ取得できなくなったときは、天候が回復してダウンロードが終了するまでそのままお待ちください。



1 メニューボタンを押す。

2 ジョイスティックの↑/↓で「各種設定」を選び、決定する。

3 ジョイスティックの↑/↓で「ダウンロード」を選び、決定する。
画面の注意事項をよく読み、操作してください。



4 ジョイスティックの↑/↓/←/→で「行う」を選び、決定する。



5 「ダウンロードは正常に終了しました」と表示されたら、ジョイスティックで決定する。
ダウンロードを始める前に見ていたチャンネルに戻ります。

「ICカードを入れてふたを閉めてください」という表示が出たら

ICカード挿入口のふたを閉めてください。

「受信できません」という表示が出たら

悪天候のときは、ダウンロードが終了するまでそのままお待ちください。

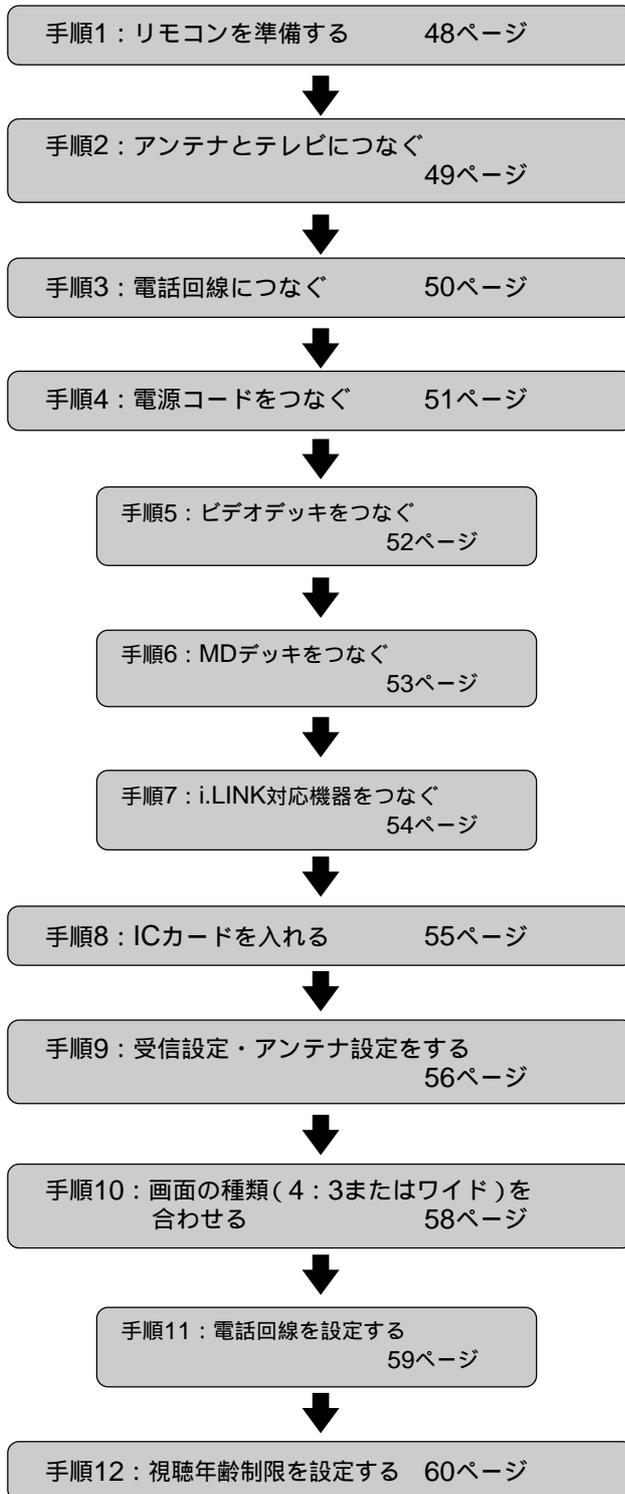
天候が回復しても同じ表示が出たままのときは、決定ボタンを押してください。アンテナの調整画面に移ります。画面に従ってアンテナの位置を調整してください。

それでも同じ表示が出たままのときは、お買い上げ店またはお近くのソニーサービスステーションへご相談ください。

設置と準備の流れ

本機を使用するために最低限必要なアンテナやテレビの接続および、各種の設定について説明します。

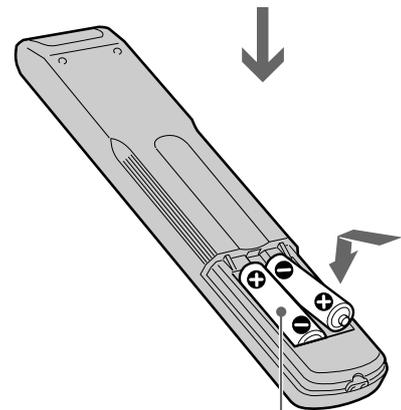
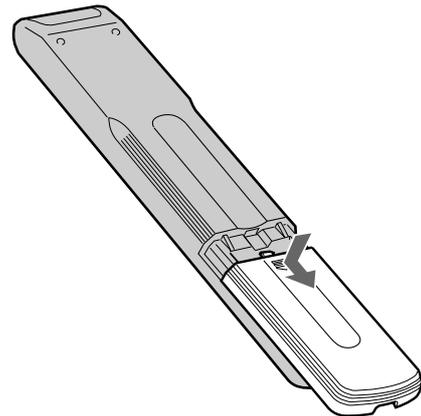
手順5～7は必要に応じて行ってください。



手順1： リモコンを準備する

リモコンに乾電池を入れる

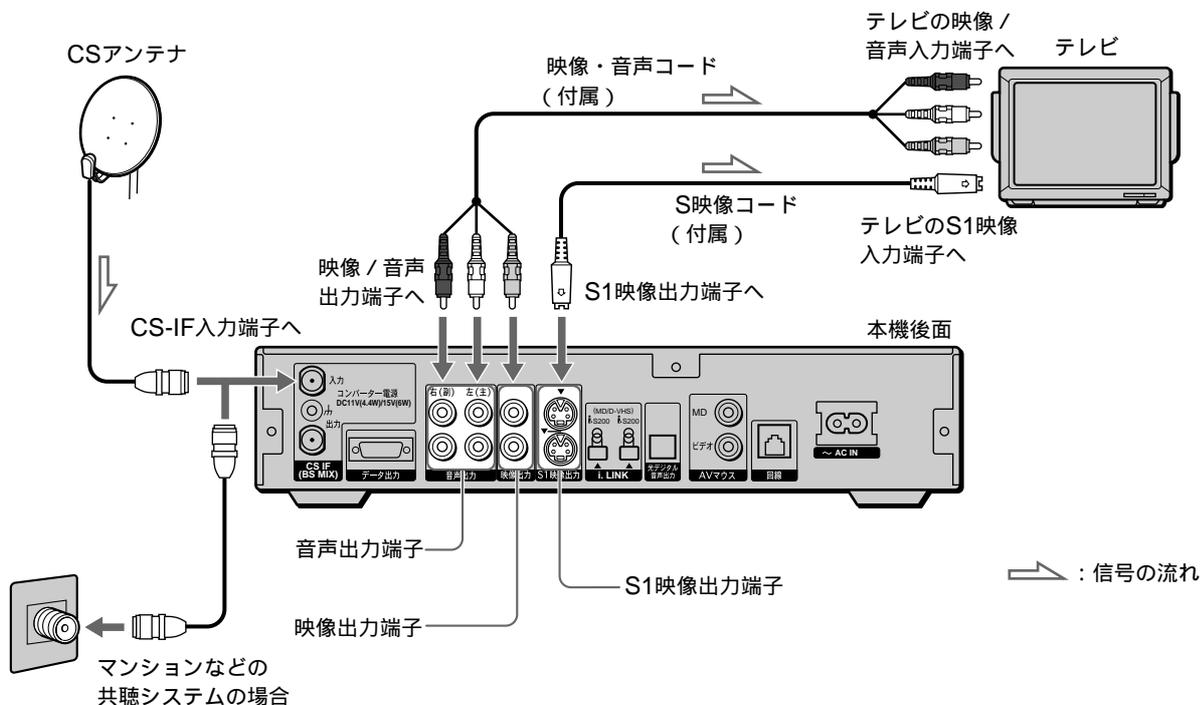
必ず下のイラストのように●極側から電池を入れてください。



単3形乾電池(付属)

手順2：アンテナとテレビにつなぐ

アンテナの取り付けや接続については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

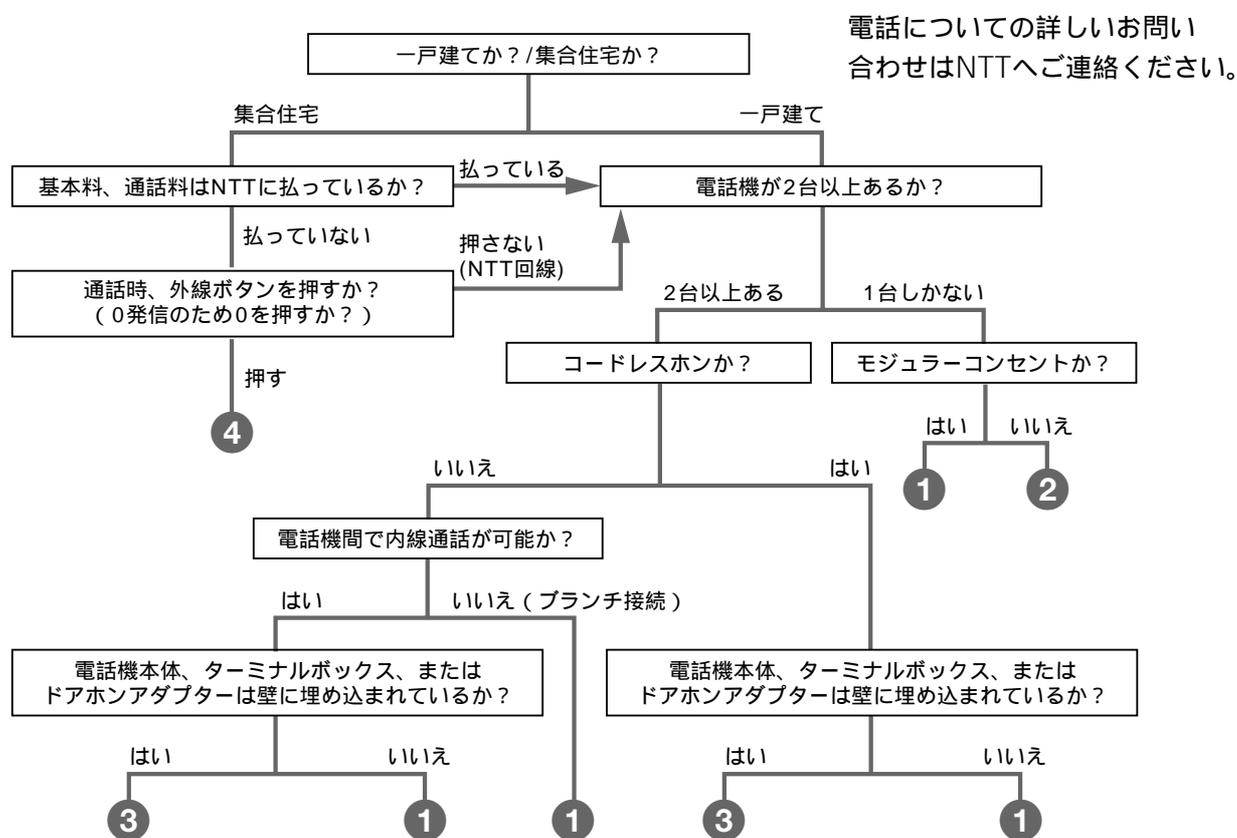
- S1映像端子のあるテレビにつなぐ場合は、付属のS映像コードを使ってS1映像端子につなぐことをおすすめします。映像や番組表がより鮮明に見られます。その場合、映像・音声コードの映像端子(黄)はつながらないでください。
- マンションなどの共聴システムでBS、CSと共にVHF / UHFが混合されている場合は、分波器を使用してください。
- CS/BS混合器EAC-MX1を使用してBSアンテナをつなぐ場合、CSとBSの入力レベルの差が大きいと正常に受信できないことがあります。CSアンテナ、BSアンテナとEAC-MX1をつなぐアンテナケーブルは20m以下になるようにしてください。また、アンテナとEAC-MX1の間には分配器などをつながらないでください。

手順3：電話回線につなぐ

一般家庭で使用されている電話接続口について

- モジュージャック式
付属のモジュラータレホンコードカプラーで電話線をつなぐだけでご自分で接続できます。
- 3ピンプラグ式のコンセント
別売りのテレホンモジュラーアダプター(TL-30など)で接続できます。
- ローゼット式
別売りのモジュージャックアダプター(TL-36など)で接続できます。この方式の電話工事は「工事担当者」の資格がある人に依頼してください。

電話回線への接続形態チェック/フローチャート

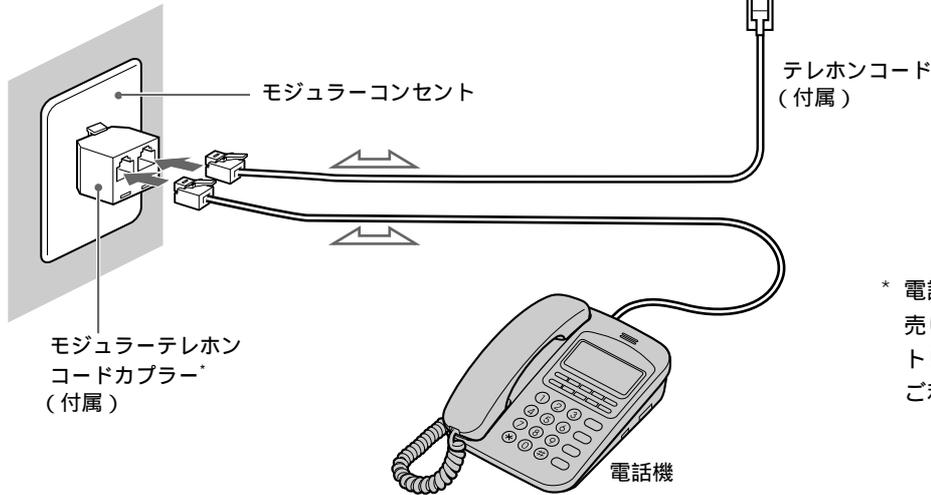
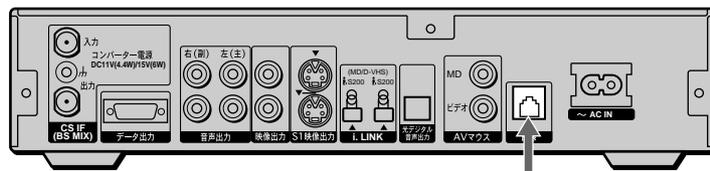


- 1 付属品のみで接続できます。(モジュラータレホンコードカプラーとテレホンコードはチューナーに同梱されています)
- 2 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
- 3 専門業者による分岐工事が必要です。
- 4 マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、初期設定メニューの「電話回線モード切換」で「0発信する」を選んでください。詳しくは「電話回線を設定する」(59ページ)をご覧ください。

電話回線の設定

お買い上げ時は「トーン」、「0発信しない」に設定されています。それ以外の種類の電話回線をご使用の場合は「電話回線を設定する」(59ページ)をご覧ください。お使いの電話回線の種類については、使用中の電話の取扱説明書をご覧ください。NTTにお問い合わせください。

本機後面



* 電話回線に3つの機器をつなぐ場合は、別売りのテレホンモジュラージャックトリプルアダプター(TL-23C/H)をご利用ください。

⇨ : 信号の流れ

ご注意

- 直付けタイプからモジュラージャックへの交換工事はNTTが無料で行います。(116番で申し込み可) 旧型からモジュラージャックに変更する場合の工料は無料です。ただし、場所を少しでも移動させる場合は工料が発生します。
- モジュラージャックへの変換工事は「工事担当者」の資格を持つ人が行ってください。
- 専用線には接続できません。
- 別売りのターミナルアダプターを使用すれば、ISDN回線に接続できます。その場合はターミナルアダプターのアナログポートに直接接続してお使いください。付属のモジュラーテレホンコードカプラーでは分岐できません。
- 公衆電話、共同電話、地域集団電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、ホームテレホンには接続できません。
- チューナーが通信を行っている場合、同一回線上の他の通信機器は使用できません。このとき、一部の通信機器では、呼び出し音が鳴ることがあります。その際は、ご使用の通信機器のメーカーにご相談ください。

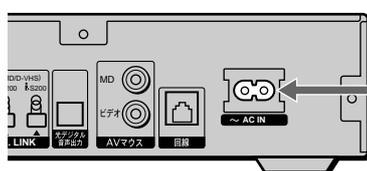
電話回線の使用について

- ICカードに記憶された番組購入・契約状況などのデータは、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信されます。
- データ送信時に発生する電話料金は、無料です。
- データ送信時の回線使用時間は、1回につき約30秒程度です。ペイ・パー・ビューなどの有料番組を視聴しなければ、回線の使用は月に1回だけです。
- データ送信時に電話がかかってきた場合は、通話中の状態になります。
- 視聴者参加型番組で、電話回線を通じて投票などをする場合、電話料金はお客様の負担になります。
- 本機はつねに電話回線に接続したままにしておいてください。
- どうしても電話回線に接続できないときは、投票やショッピングなどの視聴者参加型番組(センターアクセス)に参加しようとしても、データを放送局に送信できないため、投票や申し込み結果は無効になります。

手順4：電源コードをつなぐ

付属の電源コードをつないでください。

本機後面



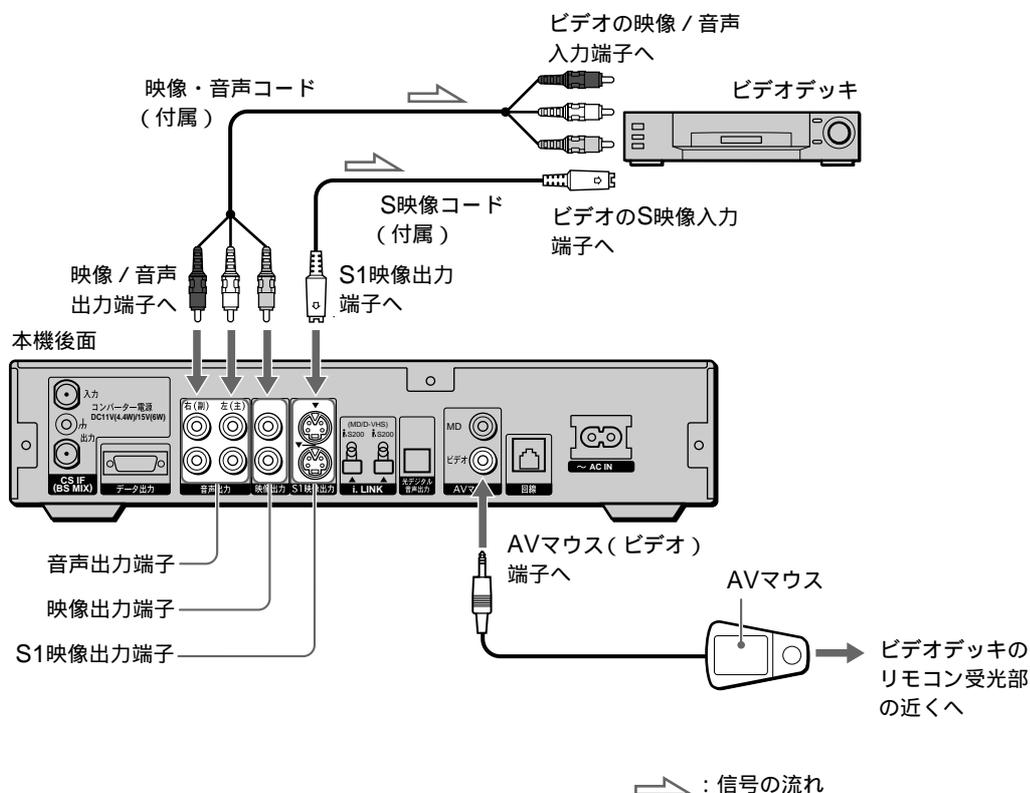
確実に奥まで差し込んでください
電源コンセントへ
~ AC IN端子へ

手順5：ビデオデッキをつなぐ

本機には、通常のビデオデッキ(DV、VHS、8ミリ)を接続できます。

付属の映像・音声コードで、ビデオデッキをつなぎます。

AVマウスは、本機後面のAVマウス(ビデオ)端子につないでください。AVマウスの設定や、AVマウスを使った録画のしかたについては、「AVマウスを使って録画予約する」(28ページ)をご覧ください。



お手持ちのビデオデッキがS映像端子付きのときは
 付属のS映像コードを使ってS1映像端子につなぐことをおすすめします。より鮮明な映像を見られます。
 その場合、映像・音声コードの映像端子(黄)はつながらないでください。

ご注意

DST-700JS / 800JSに付属のビデオマウスは、本機では使用できません。

手順6：MDデッキをつなぐ

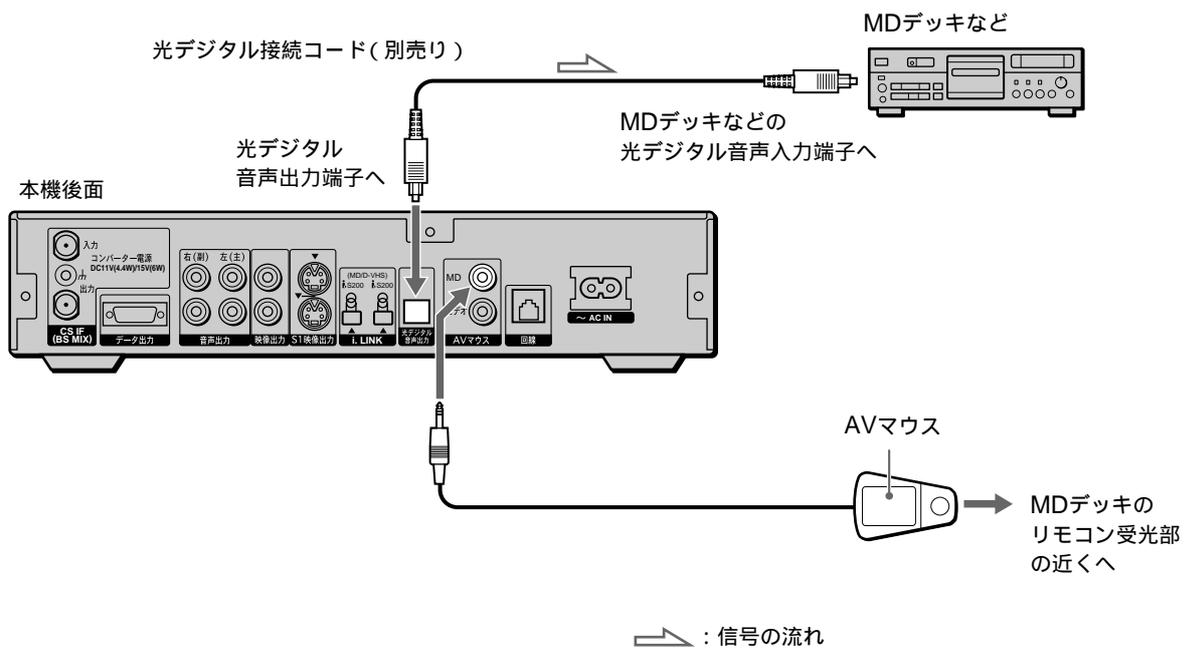
本機には、サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキおよび、i.LINK対応MDデッキを接続できます。i.LINK対応MDデッキの接続については、「手順7：i.LINK対応機器をつなぐ」(54ページ)をご覧ください。

サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキをつなぐ

本機後面の光デジタル音声出力端子と、MDデッキの音声入力端子をつなぎます。

AVマウスは、本機後面のAVマウス(MD)端子につないでください。AVマウスの設定については、「ソニーのAVマウス対応MDデッキで音楽配信サービスを受信する」(19ページ)をご覧ください。また、お手持ちのMDデッキがAVマウスに対応しているかどうかは、DNC(デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター)にお問い合わせください。(裏表紙をご覧ください。)

また、サンプリングレートコンバーターについては、ご使用のMDデッキの取扱説明書をご覧ください。

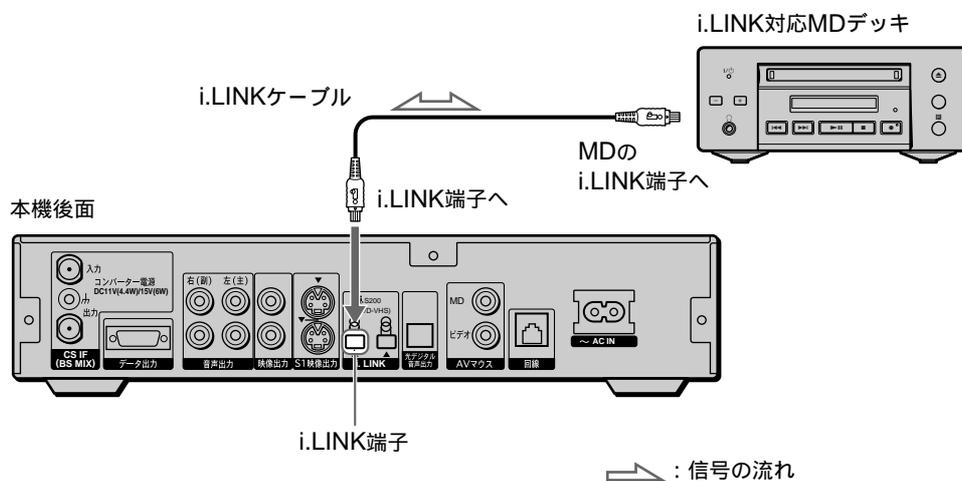


手順7：i.LINK対応機器をつなぐ

i.LINK対応機器の接続には、本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、別売りのソニーのi.LINKケーブルVMC-IL4415(1.5m) / VMC-IL4435(3.5m)をお使いください。
i.LINKについて詳しくは、35ページをご覧ください。

i.LINK対応MDデッキをつなぐ

本機後面のi.LINK端子と、MDデッキのi.LINK端子をつなぎます。
i.LINK対応のMDデッキをつなぐと、テレビ画面上のコントロールパネルでMDデッキを操作することができます(「MDデッキを操作する」38ページ)。また、MDを編集することもできます(「MDを編集する」39ページ)。

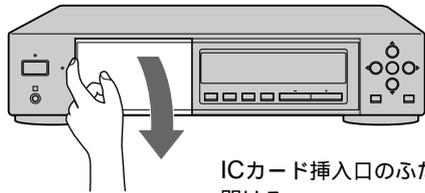


ご注意

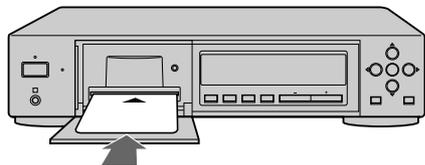
i.LINKケーブルはまっすぐ差し込んでください。

手順8：ICカードを入れる

放送をご覧になるときは必ずICカードを奥までしっかり挿入し、電話回線を接続してください。



ICカード挿入口のふたを開ける



ICカードを奥までしっかり挿入する

ICカード挿入口のふたが開いたら、イラストの描かれた面を上
に、表面に印刷された▲マークが本機に向くようにしてカード
を奥までしっかり挿入してください。
入れたあとは、必ずふたを閉めてください。

ICカードについて

ICカードにはID番号、チャンネルの契約・購入状況などの情報が記憶されています。

これらの情報は、定期的に本機から放送局へ電話回線を通じて自動送信されます。

送信中は、本体表示窓の「通話」が点灯します。

ご注意

長期間コンセント、アンテナ、電話線を抜いたままにしておくと、視聴データなどの伝送ができなくなり、継続して放送をご覧いただけなくなることがあります。

ちょっと一言

以下のメッセージが画面に表示されて番組が見られないことがあります。

- 「ICカードとのアクセスが成立しません
ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」
 - ICカードが破損している。
 - ICカードがきちんと入っていない。
- 「ICカード挿入口のふたを閉めてください」
 - ICカード挿入口のふたが閉まっていない。

手順9：受信設定・アンテナ設定をする

テレビ画面のメッセージを確認しながら、アンテナの向きの調整と本機の受信設定を行います。(受信設定ナビ)

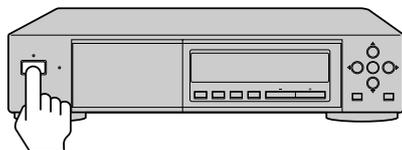
受信設定は、パーフェクトTV!で行います。

お手持ちのアンテナの種類によって、設定の手順が異なります。以下の手順は、デジタルCS放送受信セット SAS-MS9SETをご使用の場合の設定です。マンションなどの共聴システムでデジタルCS放送を受信される場合は、本ページの手順5で「その他」を選び、必要な設定を行ってください。

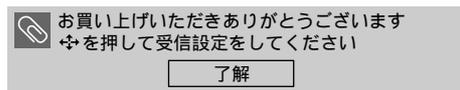


1 テレビの電源を入れ、入力を切り換える。「ビデオ1」など、本機をつないだ入力に切り換えてください。

2 本体の電源ボタンを押す。



次の画面が表示されます。



このメッセージは、はじめて電源を入れたときのみ表示されます。

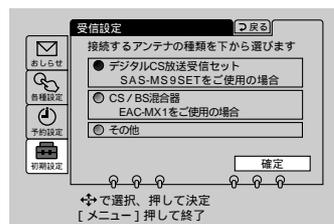
このメッセージが表示されない場合

- ① メニューボタンを押す。
 - ② ジョイスティックの↑/↓で「初期設定」を選ぶ。
 - ③ ジョイスティックの↑/↓で「受信設定」を選ぶ。
- このあと、手順3に進んでください。

3 メッセージを確認し、ジョイスティックで決定する。「ジョイスティックの使いかた」(5ページ)をご覧ください。

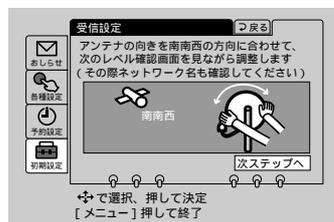


4 メッセージを確認し、ジョイスティックで決定する。



5 ジョイスティックの↑/↓でアンテナの種類を選び、決定する。

- SAS-MS9SETをご使用の場合
「デジタルCS放送受信セット SAS-MS9SETをご使用の場合」を選んで決定し、手順6に進みます。



- CS/BS混合器EAC-MX1をご使用の場合
「CS/BS混合器 EAC-MX1をご使用の場合」を選んで決定し、手順6に進みます。
- マンションなどの共聴システムで受信される場合
「その他」を選んで決定し、「マンションなどの共聴システムの場合は」(57ページ)に進んでください。

6 ジョイスティックの↑/↓で「次ステップへ」を選び、決定する。

アンテナの向きを調整する。

あらかじめアンテナを取り付けておきます。詳しくはアンテナの取扱説明書をご覧ください。

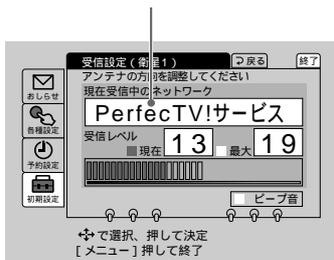
調整は、二人で行ってください。ひとりで行うときは、「ひとりでアンテナ設定を行うときは」(58ページ)の手順をご覧ください。

一人が、上下の向き(仰角)を決めたアンテナを南南西の方角に向けてゆっくりと左右に動かします。

もう一人が画面を見てネットワーク名欄に「PerfectTV!サービス」*が表示されることを確認します。アンテナレベルの最大値が表示されます。現在のレベルが少しでも最大値に近づくようにアンテナの向きを調整します。

* パーフェクTV!サービスを受信すると、スカイサービスも受信できます。

パーフェクTV!サービスの電波を受信すると「PerfectTV!サービス」が表示されます。「PerfectTV!サービス」が表示されるまでアンテナの向きを調整してください。



最大22~26が
目安(晴天時)

ジョイスティックで「終了」を選び、決定する。

以上で設定は終わりです。

スカイサービスも視聴するときは、リモコンの衛星切替ボタンでスカイサービスの放送に切り換えて、スカイサービスが受信できていることをご確認ください。

ちょっと一言

受信レベル表示の最大値は、受信地域や天候によって異なります。数値が最大となるようアンテナの向きを調整してください。

ビープ音(調整のための電子音)について

ビープ音を聞きながら、アンテナの向きを調整することができます。ジョイスティックでアンテナ設定画面の「ビープ音」を選び、決定してください。



「ビープ音」

ビープ音を出したくないときは、もう一度「ビープ音」を選んで決定してください。

ビープ音が高くなると

アンテナレベルが高くなっていることを示しています。左の手順7の最大値を目安に調整してください。

ビープ音が低くなると

アンテナレベルが低くなっています。高い音が出るように調整してください。

ちょっと一言

「ビープ音」は、あくまで調整の目安です。

左の手順7を見て、アンテナの向きの調整を行ってください。また、調整はパーフェクTV!で行いますので、PerfectTV!を受信していることを画面でご確認ください。

マンションなどの共聴システムの場合は

56ページの手順5で「その他」を選び、下記の操作を行ってください。

1 ジョイスティックの↑/↓/←/→で「衛星1」を選び、決定する。



2 コンバーター電源を設定する。

ジョイスティックの↑/↓/←/→で「切」を選び、決定する。

項目	説明
切	マンションなどの共聴システムの場合に選びます。
偏波運動	ベランダなどに設置した偏波面電圧切換方式アンテナと直接接続する場合に選びます。
入	偏波面電圧切換方式でないアンテナをご使用になる場合に選びます。

- お買い上げ時は「切」に設定されています。
- アンテナの方式はアンテナの取扱説明書などでご確認ください。

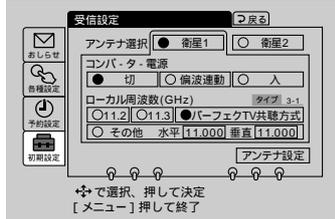
電話回線をつないでいることを確認してください。(50ページ)

電話回線につながらないと、次ページの手順3で「パーフェクTV共聴方式」に設定することができません。

次のページにつづく

手順9：受信設定・アンテナ設定をする(つづき)

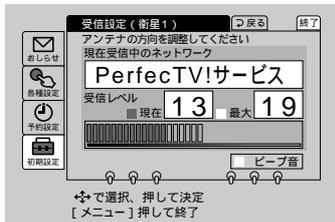
- 3 ジョイスティックの↑/↓/←/→で「パーフェクTV共聴方式」を選び、決定する。



項目	説明
11.2	通常はこの設定にしておきます。
11.3	お使いになるアンテナのコンバーターの周波数が11.3のときに設定します。
パーフェクTV共聴方式	BS放送などと混合配信されていて、1本の同軸ケーブルで配線する場合など、パーフェクTVを共聴システムで利用するときを選びます。
その他	周波数の数値を新たに設定する場合、10.500～11.500の数値を入力できます。

お買い上げ時は「11.2」になっています。

- 4 ジョイスティックの↑/↓/←/→で「アンテナ設定」を選び、決定する。



- 5 ジョイスティックの↑/↓/←/→で「終了」を選び、決定する。
以上で設定は終わりです。

ひとりでアンテナ設定を行うときは

- 56ページの手順6まで操作する。
本体表示窓にもアンテナレベルが表示されます。
- 本機の電源コードを抜き、アンテナ設置場所に本機を移動する。
- 延長コードなどを利用して本機の電源を入れ、本機前面の決定ボタンを押す。
本体表示窓に、手順1で表示されたアンテナレベルが表示されます。
- 本機のアンテナレベル表示を見ながら、アンテナの向きを調整する。
パーフェクTV!サービスの電波を受信すると、アンテナレベル表示の左上に「衛星A」が点灯します。アンテナレベルが26くらいになるまで調整してください。スカイサービスも視聴するときは、リモコンの衛星切換ボタンでスカイサービスの放送に切り換えて、スカイサービスが受信できていることをご確認ください。

手順10：画面の種類(4:3またはワイド)を合わせる

本機を接続しているテレビのタイプに合わせて設定します。ワイドテレビは「16:9」に、普通のテレビは「4:3」に設定しておくこと、16:9の横長の番組が放送されたときに、自動的にテレビのタイプに合った画面構成で映します。(パンスキャン機能)



- メニューボタンを押す。
- ジョイスティックの↑/↓で「初期設定」を選び、決定する。
- ジョイスティックの↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



- ジョイスティックの↑/↓でテレビ画面の種類を選び、決定する。

項目	種類
4:3	ふつうのテレビ
16:9	ワイド(横長)テレビ、ハイビジョンテレビ

- メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

ワイドテレビまたはハイビジョンテレビに画面モード自動切り換え機能(オートワイド機能など)がない場合は、16:9の横長映像番組が放送されたときに、手動でフルモードに切り換えて本機の映像をご覧ください。

手順11：電話回線を設定する

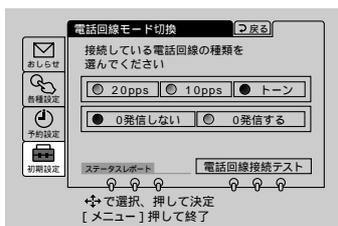
お買い上げ時は、「トーン」、「0発信しない」に設定されていますが、それ以外の電話回線をご使用のときは、電話回線の種類に合わせて、電話回線モードを設定します。

お使いの電話回線の種類については、電話の取扱説明書をご覧くださいか、NTTにお問い合わせください。

電話回線接続が正しく行われているかどうかの確認も行います。(電話回線への接続のみの確認)

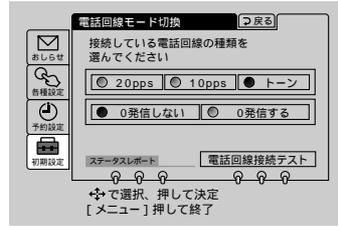


- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「初期設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「電話回線モード切替」を選び、決定する。



4

ジョイスティックの←/→で「20pps」、「10pps」または「トーン」を選び、決定する。



5

ジョイスティックの←/→で0発信の設定を選び、決定する。

項目	説明
0発信する	内線電話を利用できて、外線電話をかけるときに「0」を押す電話を使用している場合(PBX=構内変換機)。
0発信しない	上記以外の電話を使用している場合。

6

ジョイスティックの↓で「電話回線接続テスト」を選び、決定する。



ステータスレポート
サービス用のコードが表示されます

テスト中は本体表示窓の「通話」が点灯し、接続が正しければ「...正しく接続されています」と表示されます。接続が正しくない場合は、画面の指示に従ってもう一度電話線の接続を確認してください。

7

メニューボタンを押して、メニューを消す。

手順12：視聴年齢制限を設定する

暗証番号と視聴年齢制限を設定しておくことで、成人向けの番組などの視聴を制限することができます。成人向けの番組をお子様に見せたくないときなどにご利用ください。

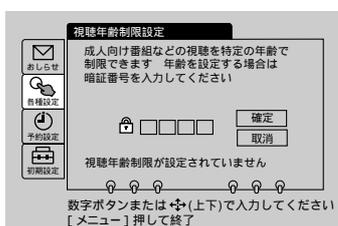
メニューの視聴年齢制限設定で、4桁の暗証番号と年齢を設定します。

年齢は4～19才で設定できます。設定する必要のないときは「なし」を選んでください。お買い上げ時は「なし」に設定されています。

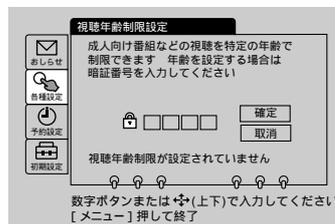
例：視聴年齢制限には、18才未満、15才未満などがあります。年齢を「15才」に設定すると、15才未満の視聴が制限された番組を選んだときに、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。



- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「各種設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「視聴年齢制限設定」を選び、決定する。

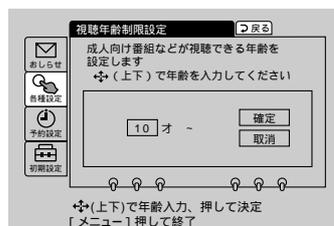


- 4 0～9の数字ボタンで、暗証番号を入力する。
 - すでに暗証番号を設定してあるときは、設定してある暗証番号を入力してください。
 - 暗証番号を間違えたときはジョイスティックの←で戻り、入力し直してください。



- 5 ジョイスティックの↑/↓で「確定」または「取消」を選び、決定する。

- 6 ジョイスティックの↑/↓で年齢を設定し、決定する。



すべての成人向け番組の視聴を制限するときは「4才」などの低い年齢に設定してください。視聴年齢制限付きの番組を選んだときに、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。

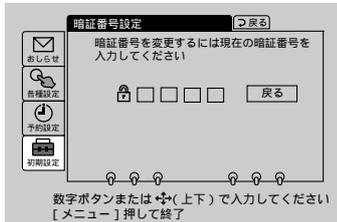
視聴制限をしない場合は「なし」を選んでください。視聴年齢制限のある番組でも暗証番号を入力せずにご覧いただけます。

- 7 ジョイスティックの⇒で「確定」を選び、決定する。

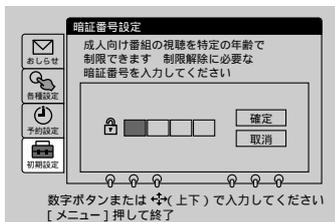
- 8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

暗証番号を変更するには

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの \uparrow / \downarrow で「初期設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの \uparrow / \downarrow で「暗証番号設定」を選び、決定する。



- 4 数字ボタンを押して変更前の暗証番号を入力する。



- 5 数字ボタンを押して好みの数字を入力し、ジョイスティックの \uparrow / \downarrow で「確定」を選んで決定する。暗証番号が変更されます。

ちょっと一言

- 暗証番号を入力するときは、リモコンのジョイスティックと本体の \uparrow / \downarrow / \leftarrow / \rightarrow /決定ボタンでも行えます。 \leftarrow / \rightarrow ⇒(\leftarrow / \rightarrow)ボタンで数字入力する桁を選び、 \uparrow / \downarrow (\uparrow / \downarrow)ボタンを押してください。0~9の間で数字が変わります。⇒(\rightarrow)ボタンを押すと数字が決定されるので、4桁すべての数字を入力し、最後にジョイスティック(決定ボタン)で決定します。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、カスタマーセンターにお問い合わせください。

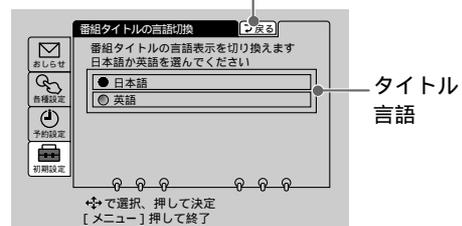
番組タイトルを英語にする

番組タイトルを英語で表示できます。(ただし英語で表示できない番組もあります。)



- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの \uparrow / \downarrow で「初期設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの \uparrow / \downarrow で「番組タイトルの言語切替」を選び、決定する。

「戻る」を選ぶと元の画面に戻ります。



- 4 ジョイスティックの \uparrow / \downarrow で「英語」を選び、決定する。番組ガイドの番組タイトル表示が英語に切り換わります。切り換わらない番組もあります。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

番組またはチャンネルごとに、番組タイトルの言語を切り換えることはできません。

本機のリモコンで テレビを操作する

本機のリモコンを使ってテレビを操作できます。
お買い上げ時の設定では、ソニーのテレビを操作できるようにになっています。他社のテレビを操作するには、あらかじめメーカー登録番号を設定してください。



ご注意

- 登録番号が数種類あるメーカーの場合は、お手持ちのテレビが操作できるようになるまで設定してください。
- 数字ボタンは間をおかないで確実に続けて押してください。
- リモコンの電池を5分以上取り出したり、電池寿命が尽きたりすると、設定した内容は消え、お買い上げ時の設定に戻ります。この場合は、もう一度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときはテレビのリモコンで操作してください。
- リモコンのボタンに対応する機能がない場合は、操作できません。

テレビを操作する

下記の表のボタンを使えます。

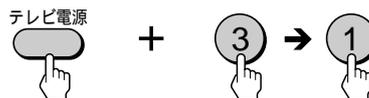
ボタン	機能
テレビ電源 	テレビの電源を入/切する。
消音 	テレビの音声を消す。
入力切換 	テレビの入力を切り換える。 テレビの映像とテレビにつないだ機器の映像が切り換わります。
チャンネル 	テレビのチャンネルを切り換える。
音量 	テレビの音量を調節する。

メーカー登録番号を設定する

他社のテレビを操作するには、メーカー登録番号を設定してください。

テレビ電源ボタンを押しながら、数字ボタンで操作したいメーカーの登録番号を押す。

例): 東芝のテレビの場合



メーカー登録番号表

ソニー	1 1	アイワ	7 7
	1 2		7 8
	1 3		7 9
松下	2 1	シャープ	8 1
	2 2		8 2
東芝	3 1		8 3
日立	4 1	フナイ	8 7
	4 2		8 8
三菱	5 1		8 9
	5 2		8 0
	5 3		8 選局
日本ビクター	6 1	NEC	9 1
	6 2		9 2
	6 3	パイオニア	0 1
サンヨー	7 1		
	7 2		
	7 3		

お買い上げ時の設定に戻す

番組表のジャンル設定やアンテナ設定などの各種の設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

予約設定や、ペイ・パー・ビュー購入合計額などの情報もお買い上げ時の設定に戻ってしまいます。

引っ越しなどで設定を変えることになったなどのやむを得ない場合をのぞいて、「工場出荷設定」の「実行」は行わないでください。



- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「初期設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「その他」を選び、決定する。



- 4 ジョイスティックの↑/↓で「工場出荷設定」を選び、決定する。



- 5 ジョイスティックの↑/↓で「実行」を選び、決定する。

- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の設定に戻る項目

下記以外の項目は戻りません。

設定項目	お買い上げ時の設定内容
EPGのジャンル設定	「スポーツ」「映画」「音楽」「ニュース」「海外放送」「教養」「子供・教育」「ドラマ」「バラエティ」「ショッピング」「旅・グルメ」「趣味」
好みのチャンネル設定	「プロモ」「マルチ」
予約方法の設定	「開始時刻が変わったら予約を取り消す」
番組タイトルの言語切換	「日本語」
チャンネル+/- ボタンの設定	「全てのチャンネル」
EPGのカーソル位置	「テレビCH」
電話回線モード切換	「トーン」「0発信しない」
インタラクティブ放送	「制限しない」
テレビ設定	「4:3」
AVマウス確認	「ソニー」「VTR3」(ビデオ) 「使用しない」(MD)
i.LINK設定	「接続機器の登録」
ペイ・パー・ビュー購入合計額	「0円」
信号切換	「映像1」「音声1」「データ1」
表示窓の明るさ	「明るい」
予約	「0件」

メニューで設定を変える

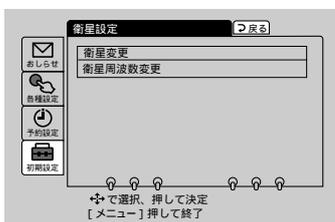
その他の設定について説明します。メニューの項目については、「メニュー画面一覧(75ページ)」をご覧ください。

衛星設定をする

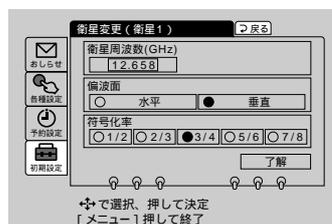
衛星の故障などにより、現在受信中の衛星が変更されたときのみ設定してください。衛星が変更されたとき以外は操作しないでください。番組が受信できなくなることがあります。



- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ジョイスティックの↑/↓で「初期設定」を選び、決定する。
- 3 ジョイスティックの↑/↓で「その他」を選び、決定する。
- 4 ジョイスティックの↑/↓で「衛星設定」を選び、決定する。



- 5 ジョイスティックの↑/↓で「衛星変更」を選び、決定する。
- 6 ジョイスティックの↑/↓で「実行」を選び、決定する。
- 7 ジョイスティックの↑/↓で「衛星1」または「衛星2」を選び、決定する。
- 8 ジョイスティックの↓で「了解」を選び、決定する。
- 9 放送会社からの情報にしたがって「衛星周波数」、「偏波面」、「符号化率」をそれぞれ設定する。



- 10 ジョイスティックの↓で「了解」を選び、決定する。

ちょっと一言

本ページの手順9の画面の内容がお買い上げ時の設定ですので、視聴できなくなった場合は、手順9の設定に戻してください。

インタラクティブ放送の設定

メニューの「初期設定」から「その他」を選び、「インタラクティブ放送設定」で設定できます。通常は、「制限しない」(お買い上げ時の設定)のままお使いください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買いあげ店またはDNC（デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター）、ソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因と対策
番組が映らない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナは衛星の方向に向けて正しく設置されていますか？ アンテナの前方に障害物はありませんか？ アンテナと本機の接続にはサテライト用同軸ケーブルを使用していますか？ コンバーターのローカル周波数の設定は正しいですか？(58ページ) 偏波面電圧切換方式アンテナを使用しているのに、コンバーター電源の設定が「入」あるいは「切」になっていませんか？ コンバーター電源の設定を「偏波連動」に設定してください。(57ページ) 正しいネットワークを選んでいませんか？(57ページ) ICカードは正しい向きで入っていますか？(55ページ) ICカード挿入口のふたは閉まっていますか？(55ページ) 放送日や時間を確認してください。 雷雨や悪天候などにより、映像が映らないことがあります。 受信契約をしていますか？ 電源コードはコンセントに差し込んでありますか？(51ページ) ICカード挿入口の中の「リセット」と書いてある穴をペンの先などで押すと、本体がリセットされます。(70ページ)
映像や音声が乱れる	本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。
通常のテレビ放送を見ているときに、画面にビート(縞状のノイズ)が出る	<ul style="list-style-type: none"> テレビのアンテナの接続には75 同軸アンテナケーブルをお使いください。 本機やケーブルをテレビのアンテナケーブルから、できるだけ離してください。
EPG(番組表)でテレビのチャンネルが表示されない	チャンネル選択欄で「ラジオCH」を選んでいませんか？(10、13ページ)
好みのチャンネル一覧に、設定したチャンネルが表示されない	好みのチャンネルは、衛星A・衛星Bそれぞれで設定できます。一覧を表示させたいサービスを選んでから、好み一覧ボタンを押してください。
電源ランプ、予約実行中の2個のランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> コンバーター電源がショートしています。 電源コードを抜き、同軸ケーブルの芯線などがショートしていないことを確かめてから、原因を取り除いてください。一度ショート状態になると、コンバーター電源の設定が「切」になるのでアンテナの方式によっては「偏波連動」または「入」に設定してください。(57ページ)
投票や申し込みができない	<ul style="list-style-type: none"> 電話回線への接続に異常がありませんか？(50、51、59ページ) カスタマーセンターに確認のうえ、ステータスレポートに表示されるエラーコードをお知らせください。(44ページ)
リモコンのボタンを押しても本機やテレビが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> リモコン用の乾電池が古くなっていませんか？新しいものと取り換えてください。 本機を操作するには、リモコン発光部を本機の受光部に向けて操作します。テレビを操作するにはテレビの受光部に向けてください。
予約録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ビデオデッキで予約設定をしましたか？ (AVマウスを使用していないとき)(33ページ) 予約した番組の開始時刻が変わったとき、「予約方法の設定」が「開始時刻が変わったら予約を取り消す」に設定されていると、予約はキャンセルされます。(31ページ)
AVマウスを使って予約録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> AVマウスの設定は正しいですか？(28ページ) 予約の際、ビデオデッキの電源を「切」にしましたか？(28ページ) ビデオデッキの入力切換は正しいですか？(28ページ) AVマウスの取り付け位置は正しいですか？(29ページ)
本体があたたく感じる	電源を切っても、常に衛星からの新しいデータを受信し、通常動作中と同様に熱を発することがありますが、故障や異常ではありません。

故障かな？と思ったら(つづき)

症状	原因と対策
リモコンのヘルプボタンを押しても何も起こらない。	ヘルプボタンは、「ヘルプ」機能のあるインタラクティブ放送の受信時のみ働きます。
チャンネル+ / - ボタンが働かない。	i.LINK対応機器の操作中や、予約記録の実行中には働きません。
AVマウスを使ってMDに記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> •お手持ちのMDデッキはAVマウスに対応していますか？DNC(デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター)にお問い合わせください。(裏表紙) •AVマウスは正しく設定・設置されていますか？(28~29ページ) •MDデッキのレベルシンクロ機能を使っていますか？レベルシンクロ機能を曲番を付けてください。 •記録開始後、MDデッキを操作しませんでしたか？記録開始後はMDを操作しないでください。
光デジタル出力を使って楽曲を記録できない。	著作権が保護されている番組では、記録できない場合があります。
本体表示窓に「インタラクティブ」が点灯しているのに、インタラクティブ画面が表示されない。	インタラクティブ放送では、番組の構成上インタラクティブ画面を表示しない時間帯があります。
インタラクティブ放送中に数字ボタンを押しても、チャンネルを選局できない。	インタラクティブ放送中には、数字ボタンによるチャンネル選局ができない場合があります。チャンネル+ / - ボタンで選局することはできます。
インタラクティブ放送でリモコンのヘルプボタンを押しても何も起こらない	受信しているインタラクティブ放送に「ヘルプ」のサービスがありません。
インタラクティブ放送でリモコンのボタンを押しても何も起こらない、または動作が遅い。	情報を読み込んでいるときは、操作に時間がかかることがあります。
i.LINK対応MDデッキをLINCできない	<ul style="list-style-type: none"> •接続に異常はありませんか？i.LINKケーブルがはずれていないかご確認ください。(54ページ)また、i.LINK対応MDデッキの電源ケーブルがはずれていないかご確認ください。 •i.LINKの機器設定の画面で、MDデッキが「接続機器」欄に表示されていますか？(41ページ) •i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていると、i.LINK対応機器を使用できなくなります。(35ページ)
i.LINK対応MDデッキを接続したのに、本機を通して音が出ない。	i.LINKのコントロールパネルで、MDデッキをLINCしてください。(38ページ)
i.LINK対応MDデッキにデジタル音声を記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> •i.LINKのコントロールパネルで、MDデッキをLINCしてください。(38ページ) •i.LINKのコントロールパネルでi.LINK入力ボタンを押して、コントロールパネルに「i.LINK」を表示させてください。(6ページ) •接続に異常はありませんか？i.LINKケーブルがはずれていないかご確認ください。(54ページ) •著作権が保護されている番組では、記録できない場合があります。 •i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていると、i.LINK対応機器を使用できなくなります。(35ページ)
i.LINKで接続したDVデッキ(デジタルビデオデッキ)の再生画が出ない。	本機のi.LINKを使って、DVデッキの再生画を見ることはできません。
i.LINKで接続したDVデッキ(デジタルビデオデッキ)で記録ができない。	本機のi.LINKを使って、DVデッキに記録することはできません。
i.LINKで接続したプリンターで、静止画をプリントできない。	i.LINKでプリンターを操作することはできません。
i.LINK対応MDデッキで曲名の表示が出ない。	漢字表示モードになっていませんか？漢字表示にすると、漢字表示の曲名データがないものは、表示されません。カナ表示モードに切り換えてください。(41ページ)
i.LINKコントロールパネルが操作できない。	i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていると、i.LINK対応機器を使用できなくなります。(35ページ)

メッセージ一覧

下の表のようなメッセージがそれぞれの状況に合わせて表示されます。

メッセージ	状況
ICカード挿入口のふたを閉めてください	ICカード挿入口のふたを閉め忘れて
ICカードを入れてください	ICカードを入れ忘れて
ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合は カスタマーセンターへ連絡してください	<ul style="list-style-type: none"> ICカードがきちんと入っていない ICカードが破損している
該当するチャンネルはありません	放送のないチャンネルを選局しようとしている
このチャンネルは現在放送休止中です	選局したチャンネルが放送していない時間帯である
コンバータ電源がショートしています 電源を切って、お買い上げ店または サービス窓口にご相談ください	コンバータの電源がショートしている
お買い上げいただきありがとうございます ⇄ を押して受信設定をしてください	初めて電源を入れた
この番組は視聴条件により視聴できません	視聴条件が限定されているチャンネルを選局した
この番組は映像 / 音声がありません この番組は映像のみ放送されています	音声放送やデータ放送など、映像や音声のない放送を受信している
この番組はデジタルラジオ放送です	デジタルラジオ放送を受信している
この番組はご契約いただくと視聴できます 番組に関する詳細はスカパーフェクTV! カスタマーセンターにお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> 契約していないチャンネルを選局した 契約後初めて視聴しようとした(新しく契約すると、視聴できるまで時間がかかることがあります。)
購入時間が過ぎているなどのため購入できません	番組の購入可能時間が終了した、または購入可能件数を超えた
ICカードのデータがいっぱいになったので購入 できません 電話線をつなぐと自動的にデータが 送られて購入できるようになります	電話回線をつないでいないため、番組購入金額・購入数がいっぱいになった
このチャンネルはネットワークの放送では ないので視聴できません	<ul style="list-style-type: none"> 本機に付属していない別のICカードを入れて使用している ホテル、旅館用などの放送(非放送)を受信している
受信できません	<ul style="list-style-type: none"> 天候の影響などで受信障害が発生している CSアンテナからの接続コードが、CS-IF入力端子から抜けている 衛星から電波が送られていない
停電などの原因でメールは消去されました ⇄ を押して決定してください	<ul style="list-style-type: none"> 停電などでメールが消えてしまった ICカード挿入口の中にあるリセットスイッチを押した
ネットワークが切り換わりました	ネットワークを切り換えた
メニューで「好みのチャンネル設定」をしてください	好みのチャンネルが設定されていないときに、好み一覧ボタンを押した
このICカードは使用できません カスタマーセンターへ連絡してください	<ul style="list-style-type: none"> 本機に付属していない別のICカードを入れて使用している 使用不能となったICカードを入れている
該当するネットワークはありません	放送されていないネットワークを選んだ
i.LINK機器が接続されていません	<ul style="list-style-type: none"> i.LINK対応機器が接続されていない i.LINKケーブルが正しく接続されていない

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

ご不明な点については、DNC(デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター)にお問い合わせください。

電話:(03)5793-4238(年中無休)

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

スカイパーフェクTV!の受信契約、番組に関するお問い合わせ先は、添付の「スカイパーフェクTV!受信申し込みについて」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルCSチューナーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名:DST-MS9

故障の状態:できるだけ詳しく

お買い上げ年月日:

お買い上げ店

TEL

お近くのサービスステーション

TEL

主な仕様

受信方式	衛星デジタル放送方式(日本方式)
受信チャンネル	スカイサーピスの各チャンネル パーフェクTV!サービスの各チャンネル
受信周波数	950~2150MHz
対応ローカル周波数	11.2GHz/11.3GHz/ 10.5~11.5GHzで可能 (1MHzステップ) 共聴1/共聴2/共聴3
アンテナ入力	CS IF 75Ω、F型コネクタ (コンバーター電源出力DC15V、 最大6W/DC11V、最大4.4W、 芯線側+、切/偏波連動/入 メニュー切り換え) 衛星切換信号 衛星1(JCSAT3)選択時: パルス信号なし 衛星2(JCSAT4)選択時: パルス信号あり (32kHz、0.6Vp-p)
アンテナ出力	BS IF、75Ω、F型コネクタ
映像出力	ピンジャック(2系統)、1 Vp-p、 75Ω
S1映像出力	ミニDIN 4ピン(2系統) Y: 1 Vp-p、75Ω C: 0.286 Vp-p、75Ω
音声出力	ステレオ、ピンジャック(2系統) 平均出力レベル 250 mVrms (FS -18dB) 最大出力レベル 2.0Vrms 出力インピーダンス 470Ω以下
i.LINK	4ピン S200(2) MD/D-VHS用
光デジタル音声出力	- 18dBm、660nm
モデム伝送レート	2400bps
AVマウス出力 (MD/ビデオ)	ミニジャック DST-700JS/800JSに付属のビデオ マウスは、本機では使用できません。

使用温度	0~40
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	15 W
最大外形寸法	280×63.5×293 mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部含む)
本体質量	約 2.1 kg

付属品	
リモコン	RM-J316D(1)
乾電池	単3形(2)
AVマウス	(1)
電源コード	(1)
テレホンコード	(10m)(1)
モジュラーテレホンコードカプラー	(1)
映像・音声コード	(1)
S映像コード	(1)
ICカード	(1)
受信申込書	(1)
取扱説明書	(1)
安全のために	(1)
ソニーご相談窓口のご案内	(1)
保証書	(1)
ユーザー登録カード	(1)
別売りアクセサリ	
AVマウス	VM-50
i.LINKケーブル	VMC-IL4415(1.5m) VMC-IL4435(3.5m)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

このデジタルサテライトチューナーは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。

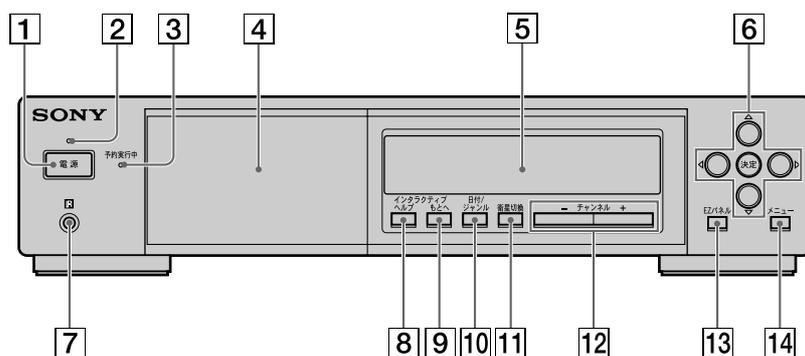
本ソフトウェアの一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。

本機は電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準適合認定及び技術的条件適合認定モデルです。

機器名	DST-MS9
認定番号	S99-3003-0 L99-N801-0

各部のなまえ

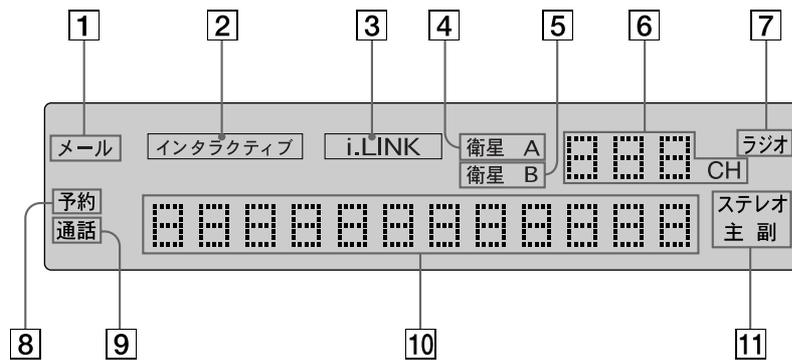
本体前面部



各部の説明は()内のページをご覧ください。

- ① 電源ボタン(56)
本機の電源を入/切します。
- ② 電源ランプ
電源が「入」のときに点灯します。
- ③ 予約実行中ランプ(27)
予約実行中に点灯します。
- ④ ICカード挿入口/ふた(55)
ふたを開けると挿入口があります。ICカードの裏表を確かめて正しい向きで挿入してください。
本体が操作できなくなった場合、「リセット」と書いてある穴をペン先などで押します。本体がリセットされ、正常に動作します。
- ⑤ 表示窓
次ページをご覧ください。
- ⑥ ↑/↓/←/→/決定ボタン(61)
画面上の項目を選びます。
- ⑦ リモコン受光部
リモコンからの信号を受け付けます。リモコンで操作するときはこの部分にリモコンの発光部を向けてください。
- ⑧ ヘルプボタン(19)
インタラクティブ放送にヘルプ機能があるときに押すと、ヘルプ画面が表示されます。
- ⑨ もとへボタン(19)
インタラクティブ放送で、最初の画面に戻るときに押します。
- ⑩ 日付/ジャンルボタン(10、12)
EPG(番組表)でカーソルを日付/時刻欄、CH/ジャンル欄に移動します。
日付/ジャンルボタンを押すたびに、カーソルの位置が下記のように切り換わります。
現在番組表
CH/ジャンル欄 ↔ 番組タイトル欄
週間番組表
日付/時刻欄 → CH/ジャンル欄
↑ 番組タイトル欄 ↓
- ⑪ 衛星切換ボタン(7)
押すたびに衛星B(スカイサービス)と衛星A(パーフェクTV!サービス)が切り換わります。
- ⑫ チャンネル+/-ボタン(8)
チャンネルを選びます。
- ⑬ EZパネルボタン(43)
EZパネルを表示します。
- ⑭ メニューボタン(14)
メニュー画面を表示します。

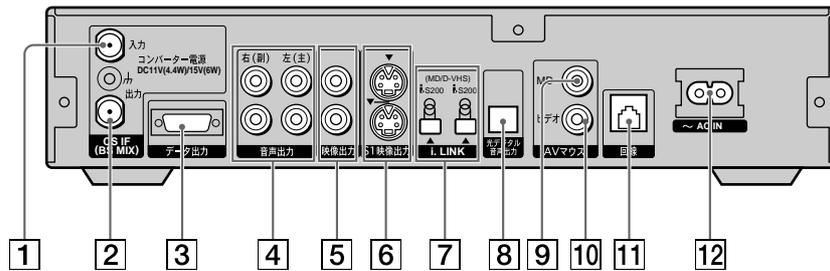
表示窓



- ① 「メール」(46)
放送局から、個人あてのお知らせメールが送られてきているときに点灯します。
- ② 「インタラクティブ」(19)
インタラクティブ放送の受信中に点灯します。
- ③ 「i.LINK」(35)
本機がi.LINKからの入力をビデオ・オーディオ出力しているときに点灯します。
- ④ 「衛星A」(7)
衛星Aからの信号(パーフェクトTV!サービス)を受信しているときに点灯します。
- ⑤ 「衛星B」(7)
衛星Bからの信号(スカイサービス)を受信しているときに点灯します。
- ⑥ チャンネル表示
受信しているチャンネル番号を表示します。
- ⑦ 「ラジオ」(21)
デジタルラジオ放送の受信中に点灯します。
- ⑧ 「予約」(27)
予約を設定してから、予約終了まで点灯します。
- ⑨ 「通話」(55)
電話回線使用中に点灯します。
- ⑩ メッセージ / アンテナレベル表示
- ⑪ 「ステレオ / 主 / 副」(8)
受信している音声を表示します。

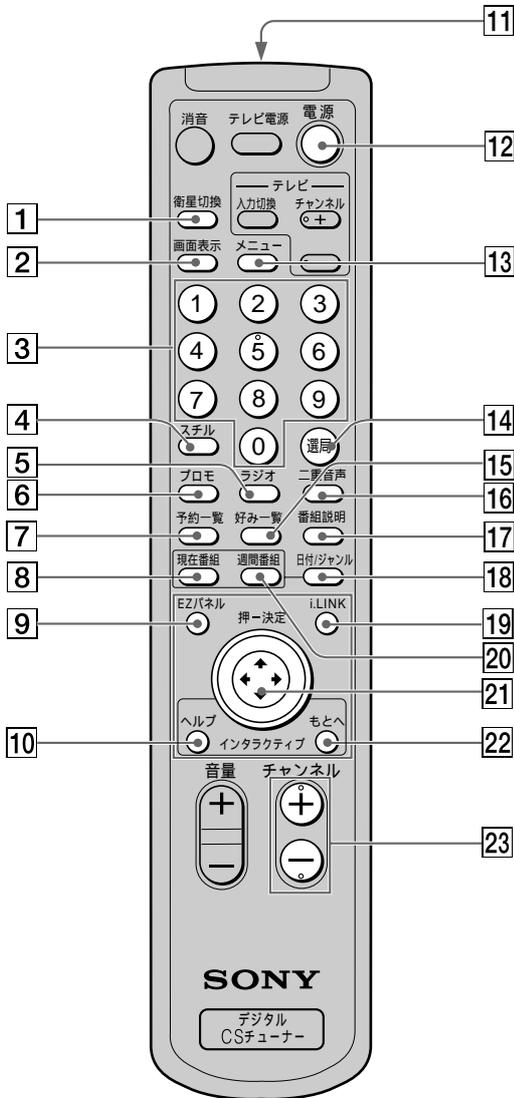
各部のなまえ(つづき)

本体後面部



- 1 CS IF (BS MIX) 入力端子 (49)
衛星用同軸ケーブルでアンテナの出力端子と接続します。
- 2 CS IF (BS MIX) 出力端子
CS IF 入力端子に BS IF 信号を混合して入力すると、BS IF 信号を出力します。
BS チューナーや BS 内蔵機器の BS 入力端子とつなぎます。
- 3 データ出力端子
データ放送サービスを利用するときに、コンピューターなどをつなぎます。
- 4 音声出力端子 (49、52)
アナログ音声信号を出力します。
テレビやビデオの音声入力端子とつなぎます。
- 5 映像出力端子 (49、52)
映像信号を出力します。
テレビやビデオの映像入力端子とつなぎます。
- 6 S1映像出力端子 (49、52)
S1映像信号を出力します。
別売りの S 映像コードで、テレビやビデオの S 映像入力端子とつなぎます。
- 7 i.LINK 端子 (54)
デジタル信号を入出力します。
i.LINK 対応機器をつなぎます
- 8 光デジタル音声出力端子 (53)
デジタル音声信号を出力します。
MD デッキなどをつなぎます。
- 9 AVマウス (MD) 接続端子 (53)
MD を操作するために、AVマウス (VM-50) をつなぎます。
- 10 AVマウス (ビデオ) 接続端子 (52)
ビデオデッキを操作するために、AVマウス (VM-50) をつなぎます。
- 11 回線端子 (モジュラージャック) (51)
電話回線をつなぎます。
- 12 ~ AC IN 端子 (電源入力) (51)
付属の電源コードをつなぎます。

リモコン

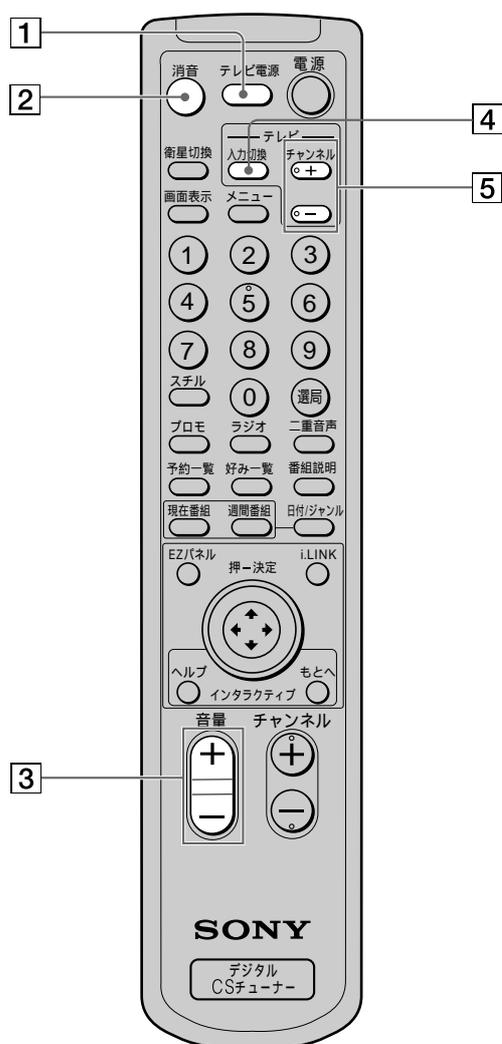


- 1 衛星切換ボタン(7)
押すたびに衛星B(スカイサービス)と衛星A(パーフェクTV!サービス)が切り換わります。
- 2 画面表示ボタン(8)
チャンネル表示や番組タイトルなどの画面表示が出ます。もう一度押すと消えます。
- 3 数字ボタン(7、60)
チャンネルを選ぶときや、暗証番号などを入力するときに使います。
- 4 スチルボタン(8)
静止画面にします。
- 5 ラジオボタン(21)
デジタルラジオ放送に切り換えます。
- 6 プロモボタン(25)
マルチ、プロモ放送を選局します。
- 7 予約一覧ボタン(34)
予約した番組の一覧を表示します。
- 8 現在番組ボタン(9)
EPG(現在番組表)を表示します。
- 9 EZパネルボタン(43)
EZパネルを表示します。
- 10 ヘルプボタン(19)
インタラクティブ放送にヘルプ機能があるときに押すと、ヘルプ画面が表示されます。
- 11 リモコン発光部
- 12 電源ボタン
本機の電源を入/切します。
- 13 メニューボタン(14)
メニューを表示します。
- 14 選局ボタン(7)
数字ボタンでチャンネル番号を入力した後に押します。
- 15 好み一覧ボタン(16)
好みのチャンネル一覧を表示します。
- 16 二重音声ボタン(8)
二重音声放送受信時に押します。押すたびに「主 副 主/副 主・・・」と切り換わります。
- 17 番組説明ボタン(17)
番組の詳しい説明を表示します。
- 18 日付/ジャンルボタン(10、12)
EPG(番組表)でカーソルを日付/時刻欄、CH/ジャンル欄に移動します。
日付/ジャンルボタンを押すたびに、カーソルの位置が下記のように切り換わります。

現在番組表		CH/ジャンル欄
EPG(番組表)	↔	番組タイトル欄
週間番組表		
日付/時刻欄	→	CH/ジャンル欄
↑		↓
番組タイトル欄		番組タイトル欄
- 19 i.LINKボタン(38)
i.LINKのコントロールパネルを表示します。
- 20 週間番組ボタン(11)
EPG(週間番組表)を表示します。
- 21 ジョイスティック(5)
画面上の項目を選び、決定します。
- 22 もとへボタン(19)
インタラクティブ放送で、最初の画面に戻るときに押します。
- 23 チャンネル+/-ボタン(8)
チャンネルを選びます。

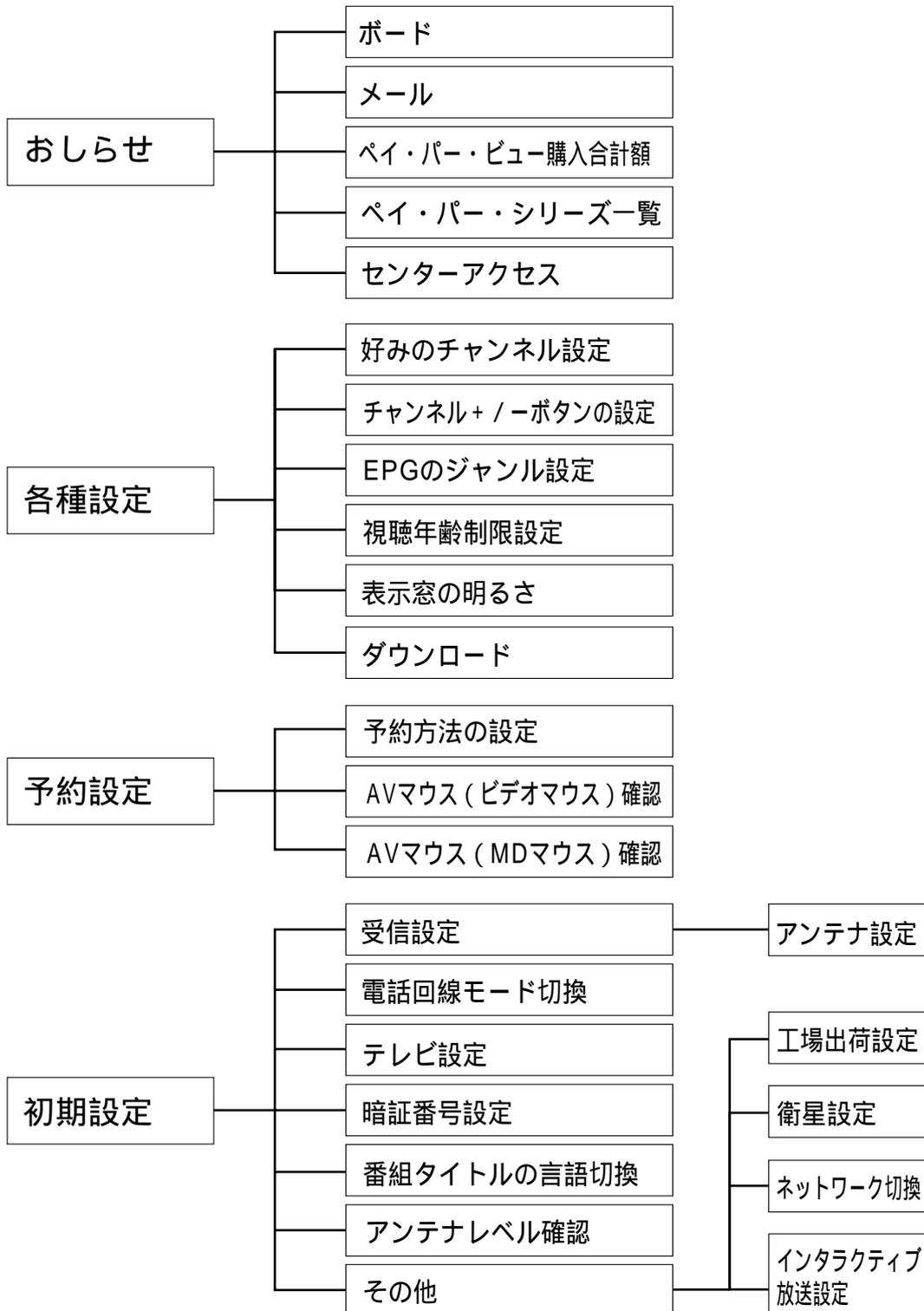
各部のなまえ(つづき)

リモコン(テレビ用ボタン)



- 1 テレビ電源ボタン(62)
テレビの電源を入/切します。
- 2 消音ボタン(62)
テレビの音声を消します。もう一度押すと音声が届くようになります。
- 3 音量+/-ボタン(62)
テレビの音量を調節します。
- 4 入力切換ボタン(62)
テレビの入力を切り換えます。
- 5 チャンネル+/-ボタン(62)
テレビのチャンネルを選びます。

メニュー画面一覧



索引

五十音順

ア行

暗証番号 60
アンテナレベル 57
いれたいとる 30
インタラクティブ放送 19
英語タイトル 61
衛星切換 7
お買い上げ時の設定 63
オフタイマー 17
音楽配信サービス 19

カ行

画面表示 8
現在番組表 4, 9
購入合計額 23
好みのチャンネル一覧 16
好みのチャンネル設定 15
コントロールパネル 6
コンバーター電源 57

サ行

サウンドナビ 21
視聴年齢制限 27, 31, 33, 60
ジャンル 10, 13, 14

週間番組表 5, 11
ジョイスティック 5
信号切換 18
スチル 8
静止画 8
設置と準備 48
センターアクセス 44

タ行

ダウンロード 47
チャンネルスキップ 17
デジタルラジオ 21
電話回線モード 59

ナ行

二重音声 8

ハ行

番組紹介チャンネル 25
番組説明 17
番組表 (EPG) 4, 9, 11
番組を選ぶ 7
ピーブ音 57
表示窓の明るさ 63
プレビュー 23
プロモ画面 25
ペイ・パー・シリーズ 24
ペイ・パー・ビュー 22
ボード (共通のお知らせ) 45

マ行

マルチ画面 25

メール (個人あてのお知らせ) 46
メッセージ一覧 67
メニュー画面一覧 75

ヤ行

有料チャンネル 22
予約
一覧 35
確認 / 取り消し 34
視聴予約 26
ビデオデッキの予約機能を
使った予約 33
AV マウスを使った予約 28

ラ行

リモコン 48
録画できない番組 22
録画防止機能 23
録画有料番組 22

アルファベット順

AV マウス 19, 28, 52, 53
EPG (番組表) 4, 9, 11
EZ (イージー) パネル 43
IC カード 55
i.LINK (アイリンク) 35
LINC (リンク) 36
MD コントロールパネル 6
MD デッキ
操作する 38
編集する 39
AV マウス対応 MD 19
PPV 22

スカイパーフェクTV!についてのお問い合わせは、スカイパーフェクTV!カスタマーセンターへ
電話：(0570)039-888 (携帯電話やPHSのときは、(045)339-0202)
受付時間：10:00～20:00 (年中無休)

本商品のお問い合わせは、DNC(デジタル・ネットワーク・カスタマーリレーションセンター)へ
電話：(03)3762-1109 (年中無休)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客まで相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311

● Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～20:00

土・日・祝日

9:00～17:00

For the English "Operating Instructions,"
please contact Sony Customer Information Center
(Sony Okyakusama Gosodan Center.)

Tel. 0570-00-3311

03-5448-3311 (for cellular or PHS phone)

Fax. 0466-31-2595

Business hours

9:00 - 20:00 (Mon.- Fri.)

9:00 - 17:00 (Sat. Sun. and holidays)

Sony  line

<http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上の
ソニーのエレクトロニクスとエンター
テインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan